

30
09
W25261/23

第三新法彙要目次 四月ヨリ六月三十日ニ至發令

法律

中央備荒儲蓄金ヲ米穀供給ニ運用ノ件(法律第三十三號)

府縣制(法律第二十五號)

郡制(法律第二十六號)

沖繩縣及小笠原島地方費支辨方(法律第三十七號)

市町村議員選舉規則(法律第二十九號)

一 衆議院議員選舉法罰則補則(法律第四十號)

一 同補則ヲ府縣會議員ニ適用ノ件(法律第四十二號)

勅令

一 中央備荒儲蓄金會計規則(勅令第七十七號)

一 丁
同 丁
四十一丁
七十九丁
同 丁
八十六丁
八十九丁
九十一丁



一貨幣鑄造ニ要スル地金買入ノ件(勅令第百四號) 九十五丁

一郵便爲替金及郵便貯金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件 同 丁

(勅令第百五號)

省令

一出納官吏現金取扱規則第十六條修正追加(省令第十三號) 九十七丁

一保管金取扱規程中改正(省令第十五號) 同 丁

訓令

一保管金受渡事務順序中改正(訓令第六十號) 九十九丁

一出納官吏現金取扱規則第十六條ノ租稅其他收入拂込 百 丁

方(訓令第六十一號)

一十九年二十年廿一年度歲入出科目其他ノ誤謬ハ訂

正セシメス(訓令第六十二號) 同 丁

一作業及鐵道會計金庫出納事務規程(訓令第六十三號) 百一丁

一作業及鐵道歲出仕拂ニ係ル件(訓令第六十四號) 百十六丁

一國稅徵收法施行細則附屬徵稅令書及納付書樣式中收 入官吏記名方(訓令第六十五號) 百十七丁

一國稅收入官吏ニ名ヲ置キタルトキ徵稅令書納付書及 現金拂込書ニ記名方(訓令第六十七號) 百十九丁

一會計主務官心得中證券印紙ヲ貼用スヘキ領收證書ニ 記入捺印方(訓令第六十八號) 同 丁

一官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程(訓令第六十九號) 百二十丁

一會計主務官心得第二十三條中領收證書ニ就キ心得方

(訓令第七十號)

百三十二丁

一 甲廳ヨリ乙廳ニ向テ收入金ヲ收納スルトキ取扱順序

(訓令第七十一號)

百三十三丁

一 雜部預入レノ各廳官吏取扱金整理順序中心得方

(訓令第七十二號)

百三十五丁

一 大藏省所管經費廿二年度ヨリ翌年度へ繰越金ニシテ

仕拂命令ヲ委任セシトキ記入方(訓令第七十三號)

百三十六丁

一 内國稅徵收費所屬物件ノ借入及不用品賣却契約ノ件

(訓令第七十四號)

同 丁

一 會計主務官ヨリ金庫へ送付スル案内仕拂命令書同請

求書記入方等ノ件(訓令第七十五號)

百三十七丁

一金庫出納事務規程中改正(訓令第七十六號)

百三十九丁

一 大藏省所管經費仕拂内譯書送付期限(訓令第七十七號)

百四十丁

一 預金局寄托金ニ付心得方(訓令第七十八號)

百四十一丁

一 廿二年度歳出支拂未濟繰越金支拂月計對照表差出

及對查證明方(訓令第八十一號)

百四十二丁

一 大藏省所管歳入金收入取扱場所(訓令第八十三號)

百四十三丁

一 税金分納ノトキ手續(訓令第八十四號)

同 丁

一 鑑札用品出納規程(訓令第八十五號)

百四十四丁

一 雜部金ノ内廿二年三月迄ニ發行セシ仕拂切符ニ對

シ現金支拂ニ係ル月計對照表取扱方(訓令第八十六號)

百四十七丁

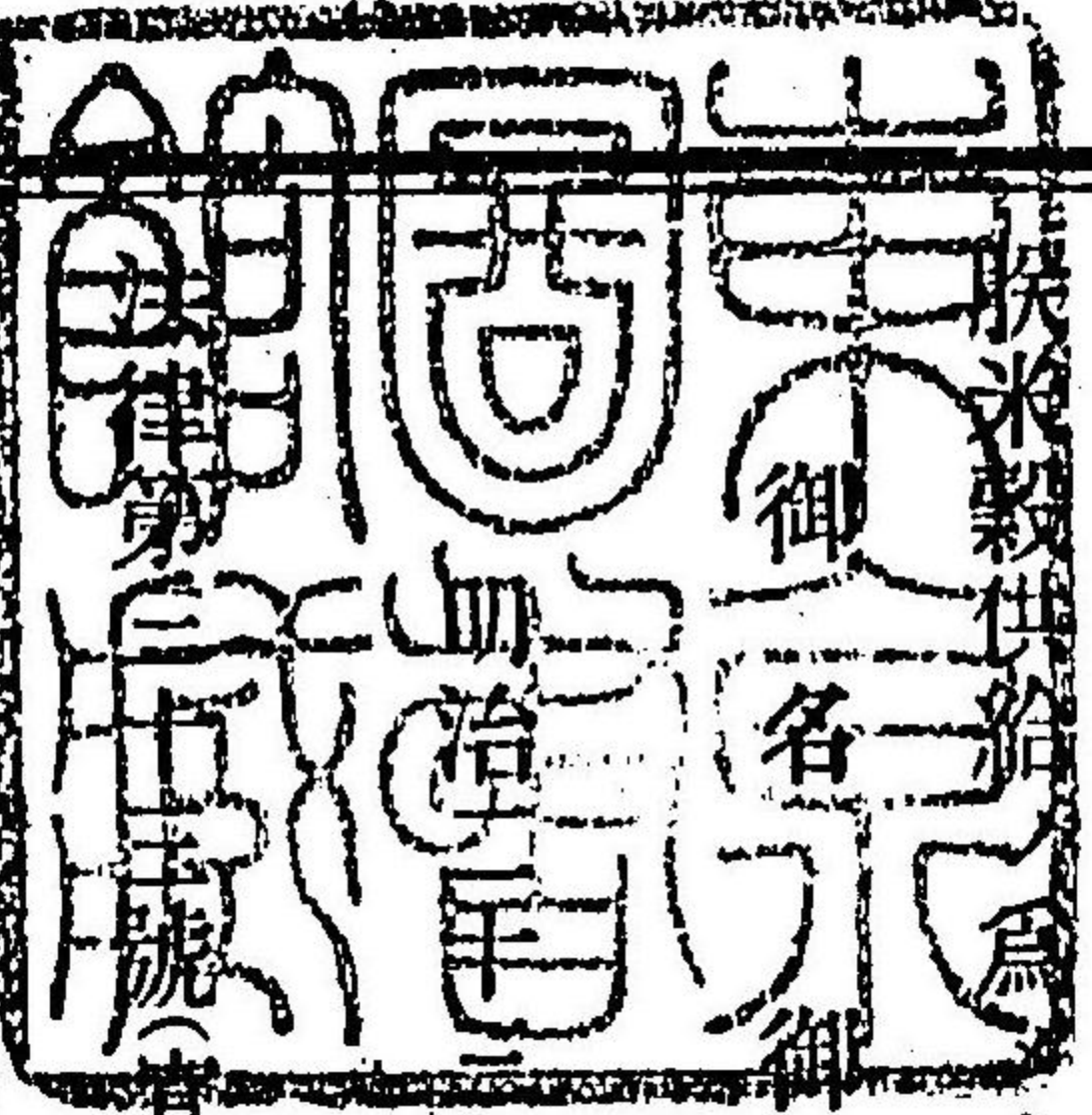
一 特別會計ノ歳入出金月計對照表ノ送付ヲ受ケタル

- トキ取扱方(訓令第八十八號) 百四十七丁
- 一各地金庫ニテ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル預金ノ元利金差出書式并ニ添付書類(訓令第八十九號) 百四十八丁
- 一各地金庫ニテ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル預金證明方(訓令第九十號) 百五十丁
- 一納入告知書現金拂込書ニ二名以上ノ收入官吏署名ノトキ取扱方(訓令第九十一號) 百五十一丁
- 一收入官吏交替ノトキ金庫へ通知方及金庫計算方取扱手續(訓令第九十二號) 百五十二丁
- 一集合仕拂命令集合仕拂請求書ニ添フヘキ金額氏名表及領收證書ニ番號付記方(訓令第九十三號) 百五十四丁

- 一保管金取扱規程中拂戻證明書へ拇印セシムル場合(訓令第九十四號) 百五十五丁
- 一各控訴院裁判所ヨリ寄托ノ豫納金及假納金取扱方(訓令第九十五號) 百五十六丁
- 一預金本局金庫ヨリ發シタル保管證書又ハ保管金額收證書ニ對シ他ノ金庫ニテ拂戻ヲナストキ取扱順序(訓令第九十六號) 同 丁
- 一大藏省所管歳出中仕拂内譯ノ證明ヲ要セサル科目(訓令第九十七號) 百五十九丁
- 一納入領收證ノ檢印ニ係ル件(訓令第九十八號) 百六十丁
- 一現金金庫へ拂込未済アルトキ報告方(訓令第九十九號) 百六十一丁

- 一 保管金取扱ニ係ル件(訓令第百號) 百六十二丁
- 一 出納官吏現金取扱ニ係ル件(訓令第百一號) 百六十三丁
- 一 收入官吏交替ノ節證明書式(訓令第百二號) 同 丁
- 一 納稅取扱ニ係ル件(訓令第百三號) 百八十丁
- 一 諸拂戻過誤拂ヲ爲シタル際取扱手續(訓令第百五號) 百八十一丁
- 一 諸收入收納取扱順序中改廢追加(訓令第百六號) 同 丁
- 一 作業及鐵道會計規則ニ據リ要スル諸報告書中記入方(訓令第百七號) 百八十二丁
- 一 出納官吏身元保證金納付方(訓令第百八號) 百八十三丁

法律



中央備荒儲蓄金運用ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 御名 御璽

昭和四年四月三十日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
 大藏大臣伯爵松方正義



政府ハ國內米穀供給ノ爲メ必要アルトキハ中央備荒儲蓄金ヲ以テ米穀購入ノ資金ニ運用スルコトヲ得此場合ニ於ケル損益ハ中央備荒儲蓄金ノ負擔トス

朕府縣制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

中央備荒儲蓄金ヲ米穀供給ニ運用ノ件 府縣制

御名 御璽

明治二十三年五月十七日

内閣總理大臣兼内務大臣伯爵山縣有朋

法律第三十五號

府縣制

第一章 總則

第一條 府縣ノ廢置分合及府縣境界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣境界ニ當ル郡市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ府縣境界モ亦自ラ變更スルモノトス

本條ノ處分ニ付其財産處分ヲ要スルトキハ内務大臣之ヲ定ム但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第二章 府縣會

第二條 府縣會ハ府縣内郡市ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

郡市ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ定數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但各郡市ヲシテ少クトモ一人ノ議員ヲ選舉セシムヘシ

第三條 府縣會議員ノ選舉ハ市ニ在テハ市會及市參事會會同シ市長ヲ會長トシ郡ニ在テハ郡會及郡參事會會同シ郡長ヲ會長トシ左ノ規定ニ依リ之ヲ行フヘシ但會長ハ投票ニ加ハラサルモノトス

一 投票ハ選舉人自ラ會長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投入ス

投票ハ匿名トス

二 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 記載セル人名ノ讀ミ難キモノ

府縣制

三

二 被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三 被選權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四 被選人氏名ノ外他ノ文字ヲ記入スルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ハ此限ニ在ラス

本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他ニ列記ノ被選人ニ付テハ仍其効アリトス

三 有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取り年齡相同キトキハ會長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

第四條 府縣内市町村ノ公民中選舉權ヲ有シ其府縣ニ於テ一年以來直接國稅十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會ノ被選權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同府縣内ニ在リ且

他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍府縣會ノ被選權ヲ有ス

其府東京府ハ警視廳トモ縣ノ官吏及有給吏員神官諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ府縣會議員タルコトヲ得ス

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第五條 府縣會議員ハ名譽職トス其任期ハ四年トシ毎二年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難キトキハ初會ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初會ニ於テ解任スヘキ者ハ府縣會議長府縣會ニ於テ自ラ抽籤シテ之ヲ定ム

解任ノ議員ハ再選セラル、コトヲ得

第六條 議員中闕員アルトキハ遅クトモ六箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第七條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フヘシ其告示ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ十四日前ニ之ヲ發スヘシ

第八條 選舉ヲ終リ當選人ノ定マリタルトキハ郡長市長ハ直ニ當選人ニ通知シ及府縣知事ニ報告スヘシ

當選人其當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ届出ヘシ

一人ニシテ數箇所ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ府縣知事ニ届出ヘシ

前二項ノ届出ヲ其期限内ニ爲サ、ルトキハ總テ選舉ヲ辭スル者ト視做スヘシ

第九條 當選人其當選ヲ辭シ又ハ承諾ノ届出ヲ爲サ、ルトキハ府縣知事ハ

其郡市ヲシテ十日以内ニ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

第十條 當選人確定シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及管内ニ告示スヘシ

第十一條 選舉人選舉ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ルコトヲ得

第十二條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セサリシコト發覺スルトキハ其當選ヲ無効トス

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員ノ職ヲ失フモノトス

第十三條 府縣會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ其議決ヲ以テ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ

第十四條 府縣會議員被選權ノ有無及選舉ノ効力ハ府縣參事會之ヲ裁決ス
府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十五條 府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 府縣ノ歳入出豫算ヲ定ムル事
 - 二 決算報告ヲ認定スル事
 - 三 府縣税ノ賦課徵收方法ヲ定ムル事
 - 四 府縣有不動産ノ賣買交換讓渡讓受竝ニ質入書入ノ事
 - 五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
 - 六 府縣有財産ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事
- 其他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス

- 第十六條 府縣會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得
- 第十七條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ
- 府縣會ハ其府縣ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付府縣知事又ハ内務大臣ニ建議スルコトヲ得
- 第十八條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス
- 第十九條 府縣會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長及副議長各一名ヲ互選スヘシ
其任期ハ議員ノ任期ニ從フ
- 議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時議長ヲ互選スヘシ
- 第二十條 府縣知事若ハ特ニ知事ノ委任ヲ受ケタル府縣ノ官吏若ハ吏員ハ府縣會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス
- 前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第二十一條 府縣會ハ毎年一回秋季ニ於テ通常會ヲ開ク通常會ノ會期ハ三十日以内トス其他必要アルトキハ其事件ニ限リ七日以内ヲ會期トシテ臨時會ヲ開クコトヲ得

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス其招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第二十二條 府縣會ハ議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 府縣會ノ議決ハ過半数ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條 議員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付

テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ府縣會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

第二十五條 府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ第三條ノ規定ニ依ルヘシ

第二十六條 府縣會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス

- 一 府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ
 - 二 議長又ハ議員五名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ
- 議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用非スシテ其可否ヲ決スヘシ

第二十七條 東京府京都府大阪府府會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノト專ラ其他ノ部分ニ關スルモノト分別スルコトヲ要スルモノアルトキハ府會ノ議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得

前項ノ分別ニ依リ專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノハ其郡部議員ニ

於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其他ノ部分ニ關スルモノハ市部議員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス此場合ニ於テハ郡部議員市部議員ニ於テ各臨時議長ヲ互選スヘシ

此法律中東京府京都府大阪府府會ノ市部議員トアルハ東京市京都市大阪市市會ニ於テ選舉シタル議員ヲ云ヒ郡部議員トアルハ東京市京都市大阪市ヲ除キ其他ノ部分ニ於テ選舉シタル議員ヲ云フ

第二十八條 議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日ノ會議ヲ開閉シ竝ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第二十九條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井及他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第三十條 會議中此法律若ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員

アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシムヘシ若強抗ニ涉ル者アルトキハ警察官ニ命シテ之ヲ退去セシムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第三十一條 議員中議場ノ秩序ヲ紊ルコト二回以上ニ及フ者アルトキハ議長又ハ議員ノ發議ニ依リ議會ノ議決ヲ以テ七日以内其出席ヲ停止スルコトヲ得

第三十二條 會議ノ傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若命ニ從ハサルトキハ警察官ニ命

シテ之ヲ退場セシムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第三十三條 府縣知事若ハ特ニ其委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員及議員ハ議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第三十四條 第三十條第三十二條ニ依リ議長ノ命ニ應セシムル爲府縣知事

東京府ハ
警視總監ハ每會期警察官ニ議場掛專務ヲ命スヘシ

第三十五條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ掌理セシム
書記ハ議長之ヲ選任ス

第三十六條 府縣會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シ議決及選舉ノ顛末竝ニ出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ議事録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘ

シ其議員ハ會議ノ前議會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事録中ニ其氏名ヲ記載シ置クヘシ

第三十七條 府縣會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ内務大臣ノ認可ヲ受テ之ヲ施行スヘシ

第三章 府縣參事會吏員及委員

第三十八條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

府ノ名譽職參事會員ハ八名トス郡部議員ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選シ市部議員ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選スヘシ

縣ノ名譽職參事會員ハ四名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第三十九條 府縣參事會員タル高等官ハ府縣廳ニ奉職ノ高等官中ヨリ内務

大臣之ヲ命ス

第四十條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ高等官會員之ヲ代理ス

第四十一條 府縣會ハ每通常會ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員府ハ八名縣ハ四名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ闕員アルトキハ府縣知事ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス

第四十二條 名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職ノ日マテ在職スルモノトス
名譽職參事會員ハ補充員ヲ以テ其闕員ヲ補充シ仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月以内ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ

第四十三條 府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決ヲ爲ス事

三 府縣會ノ定メタル方法ノ範圍内ニ於テ府縣有財産ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

四 府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

五 府縣知事及其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事

六 府縣知事ヨリ發スル府縣會議案ニ付府縣知事ニ意見ヲ述ヘ及會議ニ

報告スル事

七 臨時必要アルトキ府縣ノ出納ヲ検査スル事

其他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事務ヲ處理ス

第四十四條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス

會員半數以上ノ請求アルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

第四十五條 府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第四十六條 府縣參事會ハ議長又ハ其代理者及名譽職會員半數以上出席ス

ルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス但第四十三條第二ノ議決

ヲ爲ストキハ高等官會員ハ其議決ニ加ハラサルモノトス

府縣參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ
依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署
名スヘシ

第四十七條 府縣參事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル

事件ニ付府縣參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項規定ノ爲出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府

縣知事ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ府縣會議員ニ

シテ該事件ニ關係ナキ者ノ内ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ

補充シテ第三十八條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第四十八條 市制町村制ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシ

テ二府縣以上ノ郡市町村ニ交渉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ

依リ内務大臣ニ於テ其事件ヲ管轄スヘキ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第四十九條 東京府京都府大阪府參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノハ其郡部名譽職參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其東京市京都市大阪市外ノ市町村若ハ郡ニ關スルモノハ市部名譽職參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

此法律中東京府京都府大阪府會ノ市部名譽職參事會員トアルハ市部議員ニ於テ選舉シタル名譽職參事會員ヲ云ヒ郡部名譽職參事會員トアルハ郡部議員ニ於テ選舉シタル名譽職參事會員ヲ云フ

第五十條 府縣知事ハ府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ施行シ及府縣有財產及營造物ヲ管理シ竝ニ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス
府縣ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ知事ノ外名譽

職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ文書中府縣會又ハ參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ其議決ヲ經タルモノハ總テ其旨ヲ記入スヘシ

第五十一條 府縣會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選舉セス又ハ參事會成立セス又ハ招集ニ應セサルトキハ參事會成立シ又ハ招集ニ應スル迄府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ府縣參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ府縣會會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第五十二條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ府縣ノ費用ヲ以テ府縣有財產

又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得但府縣吏員ハ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

府縣吏員ノ給料手當退隱料等ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十三條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ府縣事務ノ一部ヲ調査セシメ又ハ府縣有財産及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得其選舉又ハ選任ノ方法及任期ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル委員ハ名譽職トス

第四章 府縣ノ會計

第五十四條 府縣有財産及營造物管理ノ費用府縣會府縣參事會及委員ノ費用府縣吏員ノ給料退隱料其他諸給與及從來法律命令若ハ慣例ニ依リ竝ニ

將來法律勅令ニ依リ府縣ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ府縣ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第五十五條 名譽職參事會員及委員ニハ旅費滯在手當及出務日當ヲ給スルコトヲ得府縣會議員ニハ旅費及滯在手當ニ限り之ヲ給スルコトヲ得但滯在手當出務日當ヲ併セ一日一圓五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十六條 府縣ノ支出ハ府縣稅其他府縣ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第五十七條 府縣稅目及其賦課徵收方法ニ關スル規定ハ此法律ニ依リ變更シタルモノヲ除クノ外從前地方稅ニ關スル規定ニ依ル

第五十八條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ其府縣ノ全部若ハ市制施行ノ地ニ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス

第五十九條 府縣内ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ店舗ヲ定メテ營業ヲ爲ス者ハ其土地家屋營業ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

府縣内ニ一戸ヲ構ヘ三箇月以上ニ及フ者ハ其戸數ニ對シテ府縣稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ一戸ヲ構ヘタル初ニ遡リ徵收スヘシ

第六十條 府縣稅ノ賦課ニ付テハ納稅者其府縣外ニ於テ店舗ヲ定メタル營業ノ收入ヲ其標準ニ算入スルコトヲ得ス

第六十一條 府縣會ハ各市町村内ニ於テ徵收スル府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ヲ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項市町村會ノ議決ハ法律命令又ハ府縣會ノ議決ニ抵觸スルコトヲ得ス市町村會ニ於テ府縣會ノ指定シタル期限内ニ其議決ヲ爲サルトキハ府

縣參事會之ヲ議決スヘシ

第六十二條 營業ノ狀況又ハ收入ヲ標準トシテ賦課スル府縣稅ニ付テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ賦課額調査ノ爲其府縣内郡市ニ調査委員ヲ置クコトヲ得

第六十三條 府縣稅ノ免除ハ市町村稅免除ノ規定ニ依ル

第六十四條 府縣會ハ府縣内郡市町村ノ土木工事又ハ府縣内ノ教育衛生勸業及慈善ノ事業若ハ營造物ニ對シ補助金ヲ與フルコトヲ議決スルコトヲ得

第六十五條 府縣會ハ家屋稅又ハ戸數割ノ全部又ハ一部ノ代納トシテ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニ對シ夫役又ハ現品ヲ出スヲ許スコトヲ議決スルコトヲ得

第六十六條 府縣稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但日割ヲ以テ徵收スルモノハ此限ニ在ラス

納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ當該官廳ニ届出ヘシ其届出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ従前ノ稅ヲ徵收スヘシ

物件ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル府縣稅ハ其納期ニ於テ納稅義務ヲ負フ者其額ヲ納ムヘシ

府縣稅ノ前納ニ係ルモノハ其義務ノ消滅シ又ハ他人ニ移轉シタル場合ト雖之ヲ還付セス但其義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其前納期限ノ終迄納稅セサルモノトス

第六十七條 府縣稅ハ法律命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノヲ除クノ外

各市町村長ニ於テ市町村稅徵收ノ手續ニ依リ之ヲ徵收スヘシ

第六十八條 府縣稅ノ賦課ニ對シ錯誤アルコトヲ發見シタル者ハ徵稅傳令書ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ其傳令書ヲ發シタル廳ニ申立ルコトヲ得但申立ノ爲其納稅ヲ拒ムコトヲ得ス

第六十九條 前條ノ申立ヲ爲シタル後二十一日以内ニ其更正ヲ得サルトキ又ハ其更正ヲ得ルモ之ニ不服ナルトキハ十四日以内ニ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ其裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但市ニ在テハ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十條 府縣稅ノ免稅若ハ納稅延期ハ特別ノ事情アルモノニ限り府縣

知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得
府縣稅ノ滯納處分ハ國稅滯納處分法ニ依ル

第七十一條 東京府京都府大阪府ニ在テハ府ノ支出ニ充ツヘキ府稅ヲ市部
及郡部ニ分賦ス其分賦ノ割合ハ府會ニ於テ之ヲ議決シ内務大臣ノ認可ヲ
受ケテ施行スヘシ

前項市部ノ分賦額ハ市ニ於テ之ヲ市ノ豫算ニ編入シ市稅トシテ徵收シ其
總額ヲ府金庫ニ納ムヘシ郡部ノ分賦額ハ此法律ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス
但市部議員ハ其徵收ニ關スル議事ニ參與シ及ヒ議決ニ加ハラサルモノト
ス此場合ニ於テ若議長副議長市部議員ナルトキハ郡部議員ニ於テ臨時議
長ヲ互選スヘシ

第七十二條 市制施行ノ府縣ニ在テハ郡廳舎建築修繕費郡吏員給料旅費及

廳費ハ市ヲ除キ其他ノ部分ノミヲシテ其負擔ニ任セシムヘシ

前項ノ府縣ニ在テハ其府縣ノ支出費目中市ト其他ノ部分ト利害ノ厚薄ヲ
異ニシ均一ノ負擔ニ任セシムルコトヲ得サルモノアルトキハ其費目ニ限
リ其一方ノ負擔ヲ増加スルコトヲ得但負擔ノ割合ハ府縣會ニ於テ之ヲ議
決シ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ内
務大臣之ヲ確定ス

第一項ノ負擔ニ任セシメ及第二項ニ依リ一方ノ負擔ヲ増加スルハ賦課ノ
稅率ヲ増加スルニ止メ其會計ヲ異ニスルコトヲ得ス但東京府京都府大阪
府ニ在テハ前條ニ依ル

前項ニ依リ稅率ヲ増加スヘキ稅目ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル

第七十三條 府縣内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ

府縣會ノ議決ニ依リ該部分ニ對シ通常府縣稅賦課ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ增課スルコトヲ得

第七十四條 府縣ハ其舊債元額ヲ償還スル爲又ハ天災事變ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ府縣ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ府縣會ノ議決ヲ以テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

府縣債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

歲入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内ノ

收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス但府縣參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第七十五條 府縣知事ハ毎年其翌年度ニ係ル歲入出豫算ヲ調製スヘシ但府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ハ府縣會ノ議決ニ付スルノ前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ知事ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ

內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ竝ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第七十六條 豫算ハ毎年府縣會ノ議決ヲ取り之ヲ內務大臣ニ報告シ竝ニ府縣ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル

場合ニ於テモ亦同シ

府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ其年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ其府縣有財産表ヲ提出スヘシ

第七十七條 歳入山豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第七十八條 府縣ノ收支命令ハ府縣知事之ヲ發スヘシ

第七十九條 會計事務ヲ管理スル官吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ

爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキガ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第八十條 決算ハ會計事務ヲ管理スル官吏ニ於テ會計年度後三箇月以内ニ之ヲ府縣知事ニ提出シ府縣知事ハ府縣參事會ヲシテ之ヲ検査セシメ次回ノ通常府縣會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書竝ニ之ニ關スル府縣會ノ議決ハ府縣知事ヨリ之ヲ内務大臣ニ報告シ竝ニ決算ハ府縣ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章 監督

第八十一條 府縣ノ行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第八十二條 府縣ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ其理由ヲ具シテ内務大臣ニ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第八十三條 内務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ内務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ竝ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第八十四條 府縣會又ハ府縣參事會ノ議決公益ヲ害スト認ムルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ改メ

サルトキハ直ニ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

府縣會又ハ府縣參事會ノ議決其權限ヲ超エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ其議決ヲ取消スヘシ此場合ニ於テ府縣知事ノ處分ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ府縣ノ負擔ニ屬スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ府縣知事ハ内務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但内務大臣ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第八十六條 府縣會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ内務大臣ノ指揮ヲ請ヒ處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第八十七條 府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セス又ハ府縣會ニ於テ招集前正當ノ手續ヲ以テ告知セラレタル議案ヲ第二十一條第一項ニ定メタル期限内ニ議了セサル場合ニ於テ其事緊急ヲ要スルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セス又ハ議了セサル議案歲入出豫算ニ係リ內務大臣ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第八十八條 內務大臣ハ府縣ノ歲入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除シ及其府縣ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ

之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第八十九條 府縣會ノ解散ハ勅令ヲ以テス此場合ニ於テハ三箇月以內ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

府縣會解散ノ後改選結了ニ至ル迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ專決處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第九十條 左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 新ニ府縣債ヲ起シ又ハ其額ヲ増加シ若ハ償還ノ方法ヲ變更スル事
- 二 地租四分ノ一ヲ超過スル府縣稅ヲ土地ニ賦課スル事

三 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ下渡ス歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第九十一條 左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一 府縣有不動産ノ賣却讓渡竝ニ質入書入ノ事

二 第七十二條第二項ニ依リ市若ハ其他ノ部分ノ負擔ヲ増加スル事

三 第七十三條ニ依リ府縣内ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ増課スル事

四 第七十六條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期内ニ議決ヲ變更スル事

第六章 附則

第九十二條 行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第九十三條 市制町村制施行ノ爲定ムル直接税ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦之ヲ適用ス

市制町村制郡制及此法律施行ノ爲將來ノ諸税ニ付直接税ト爲スヘキモノハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示スヘシ

第九十四條 此法律ハ郡制市制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第九十五條 此法律施行ノ後ハ市制第二百二十二條第三ニ定ムル附加税徴收ノ許可ハ東京市京都市大阪市ニ在テハ地租七分ノ三、二五(二十八分ノ十)三)其他ノ市ニ在テハ其七分ノ一、五(十四分ノ三)ヲ超過スルトキ之ヲ要

スルモノトス

第九十六條 府縣内ニ在ル島嶼ノ其本地ニ對スル關係ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ク

郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第九十七條 明治十三年四月第十五號布告府縣會規則明治十四年二月第八號布告區郡部會規則明治二十二年二月法律第六號府縣會議員選舉規則其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ府縣ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第九十八條 內務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之カ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

朕郡制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年五月十七日

內閣總理大臣兼內務大臣伯爵山縣有朋

法律第三十六號

郡制

第一章 總則

第一條 郡ノ廢置分合及郡界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡界ニ當ル市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ郡界モ亦自ラ變更スルモノトス

第二條 郡内ノ町村ヲ變シテ市ト爲シ若ハ市ヲ變シテ郡内ノ町村ト爲スハ其市會町村會ノ申請ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第三條 第一條第二條ノ處分ニ付其財産處分ヲ要スルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第二章 郡會

第四條 郡會ハ郡内町村ニ於テ選舉シタル議員及大地主ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 町村ニ於テ選舉スヘキ郡會議員ノ數ハ每町村各一名トス

郡會議員ノ數二十名以上ニ及フトキハ二十名ヲ以テ制限トス此場合ニ於テ議員配當法ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

郡會議員ノ數十名ニ滿タサルトキハ郡會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經其數ヲ増シテ十名ニ至ルコトヲ得其配當法ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

本條議員配當法ハ郡内ノ町村數ニ増減アリタル場合ノ外初回ハ三年間爾後ハ十二年以上ニ至リ町村ノ人口ニ著シキ増減アルニ非サレハ改正セサルモノトス

議員配當法ヲ改正スルトキハ議員全數ヲ改選スヘシ

第六條 一町村ニ於テ一名以上ノ議員ヲ選舉スルハ其町村會之ヲ行ヒ數町村ニ於テ一名若ハ一名以上ノ議員ヲ選舉スルハ其各町村會會同シテ之ヲ行フヘシ

第七條 町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモ

ノハ第四條乃至第六條ノ規定ニ關シテハ之ヲ一町村ト同視シ其組合會ニ於テ議員選舉ヲ行フヘシ

第八條 大地主ハ町村ニ於テ選舉スヘキ議員定數ノ外其定數ノ三分ノ一ヲ互選スルモノトス若端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ

選舉ヲ行フコトヲ得ヘキ大地主ニシテ其員數町村ニ於テ選舉スヘキ議員定數ノ三分ノ一以下ナルトキハ其大地主ハ選舉ニ依ラスシテ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期限内ニ於テハ大地主ノ員數減シテ三分ノ一以下ニ至ルト雖解散ノ爲改選スル場合ヲ除クノ外ハ本項ヲ適用スルノ限ニ在ラス

第九條 大地主トハ郡内ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クル所有地ニシテ地價總計一萬圓以上ヲ有スル地主ヲ云フ

第十條 郡内町村公民ニシテ町村會ノ選舉ニ參與スルコトヲ得ヘキ者及大

地主中自ラ選舉ニ加ハルコトヲ得ヘキ者ハ總テ郡會ノ被選權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同郡内ニ在リ且他ノ

要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會ノ被選權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ選舉ニ係ルト否トヲ問ハス郡會議員タルコトヲ得ス

一 所屬府東京府ハ警視廳トモ縣竝ニ其郡ノ官吏

二 其郡ノ有給吏員

三 神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師

四 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選ニ應シ又ハ第八條第二項ノ權利ヲ行ハントスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 大地主ニシテ選舉權ヲ有スルハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル男子ニ限ル

年齢二十歳未滿ノ者及治産ノ禁ヲ受ケタル者ハ選舉權ヲ有セサルモノトス

大地主ノ選舉權ハ身代限處分中又ハ租稅滯納處分中又ハ公權ノ剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲裁判上ノ訊問若ハ勾留中ハ之ヲ停止ス

本條ノ規定ハ選舉ニ依ラスシテ郡會議員タル者ニモ適用ス

第十二條 選舉權ヲ有スル大地主ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ代人ヲ以テスルニ非サレハ選舉ヲ行フコトヲ得ス

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ町村制ニ定メタル獨立ノ男子ニ限ル但

一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ以テ代理ノ證トスヘシ

本條ノ規定ハ第八條第二項ノ權利ヲ行フ場合ニモ適用スルモノトス但其代人ハ郡會ニ被選舉權ヲ有スル者ニシテ郡會議員タラサル者ニ限ル

第十三條 郡會議員ハ名譽職トス

町村ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ六年トシ每三年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會ニ於テ自ラ抽籤シテ之ヲ定ム

大地主ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ三年トシ每三年其全數ヲ改選ス解任ノ議員ハ再選セラレ、コトヲ得

第十四條 議員中闕員アルトキハ遅クモ六箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十五條 郡長ハ郡會議員改選前選舉權アル大地主ノ名簿ヲ製シ之ニ其資格ヲ記載シ其氏名ヲ告示スヘシ

關係者ニ於テ大地主名簿ノ正否ニ關シ異議アルトキハ告示後二十一日以內ニ郡長ニ申立テ其郡長ノ裁決ニ不服ナル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

大地主名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與シ及第八條第二項ニ依リ郡會議員タルコトヲ得ス

大地主名簿ハ次ノ定期改選前ニ行フヘキ補闕選舉ニモ亦適用スルモノトス但大地主ノ資格ヲ失ヒ又ハ選舉權ノ要件ヲ失ヒタル者ハ之ヲ削除シ其氏名ヲ告示スヘシ其處分ニ對シ異議アルトキハ本條第二項ノ例ニ依ル

定期改選ノ期限内新ニ選舉權ヲ得又ハ選舉ニ依ラスシテ郡會議員タルノ權利ヲ得タル者ハ解散ノ爲改選スル場合ヲ除ク外期限内ニ於テ其名簿ニ登録セサルモノトス

第十六條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フヘシ其告示ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第十七條 選舉ノ順序ハ先ツ町村之ヲ行ヒ次ニ大地主之ヲ行フヘシ町村ニ於テ行フ選舉ハ町村制第四十六條ノ規定ニ從フヘシ但數町村會會同シテ行フ選舉ハ郡長又ハ郡長ノ指定スル町村長ヲ選舉會長トシテ之ヲ行フヘシ

大地主ニ於テ行フ選舉ハ郡長ヲ選舉會長トシテ之ヲ行フヘシ

第十八條 大地主ニ於テ選舉ヲ行フトキハ左ノ規定ニ依ルヘシ

- 一 郡長ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日前選舉人ニ招集狀ヲ發シ選舉ノ場所日時ヲ告知スヘシ
- 二 選舉掛ハ選舉會長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ選任シタル立會人二名若ハ四名及選舉會長ヲ以テ之ヲ組織ス
選舉會長ハ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス
- 三 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス
- 四 投票ハ選舉人自ラ選舉會長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投入ス
投票ハ匿名トス
- 五 左ノ投票ハ之ヲ無効トス
 - 一 記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
 - 二 被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

- 三 被選權ナキ人名ヲ記載スルモノ
- 四 被選人氏名ノ外他ノ文字ヲ記入スルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ハ此限ニ在ラス
本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他ニ列記ノ被選人ニ付テハ仍其効アリトス
投票ノ受理竝ニ効力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉會長之ヲ決ス
- 六 有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取り年齡相同キトキハ選舉會長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム
- 七 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シテ署名スヘシ

八 投票ハ選舉ノ効力確定スル迄之ヲ保存スヘシ

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會ニ於テ行フ選舉ニ在テハ町村長數町村會會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

當選人當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其當選ヲ承諾スルヤ否ヲ郡長ニ届出ヘシ

一人ニシテ數箇所ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコト及選舉ニ依ラスシテ郡會議員タルヘキ大地主ニシテ町村ノ選舉ニ當選シタルトキハ其選舉ニ應スルコト又ハ應セサルコトヲ同期限内ニ郡長ニ届出ヘシ

前二項ノ届出ヲ其期限内ニ爲サルトキハ選舉ヲ辭スル者ト視做スヘシ

町村ノ選舉ニ應スル大地主ハ第八條第二項ノ權利ヲ有スル者ト雖二重ニ其權ヲ行フコトヲ得サルモノトス

第二十條 議員ノ當選ヲ辭シ又ハ承諾ノ届出ヲ爲サル者アルトキハ郡長ハ七日以内ニ更ニ選舉ヲ行ヒ又ハ町村長ニ命シテ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

第二十一條 當選人確定シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及管内ニ告示スヘシ

第二十二條 選舉人選舉ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員ノ職ヲ失フモノトス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ其議決ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知スヘシ

第二十五條 郡會議員被選權ノ有無及選舉ノ効力ハ郡參事會之ヲ裁決ス郡參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十六條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 郡ノ歲入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ヲ認定スル事
- 三 郡有不動産ノ賣買交換讓渡讓受竝ニ質入書入ノ事
- 四 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利

ノ棄却ヲ爲ス事

五 郡有財産ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事

其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス

第二十七條 郡會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第二十八條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ

郡會ハ其郡ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付郡長又ハ府縣知事ニ建議スルコトヲ得

第二十九條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第三十條 郡會ハ郡長ヲ以テ議長トス

郡會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長代理者一名ヲ互選スヘシ
議長及議長代理者共ニ故障アルトキハ臨時議長代理ヲ互選スヘシ

第三十一條 郡長若ハ特ニ郡長ノ委任ヲ受ケタル郡吏員ハ郡會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第三十二條 郡會ハ毎年一回通常會ヲ開クヘシ其他必要アルトキハ其事件ニ限り臨時會ヲ開クコトヲ得

郡會ハ郡長之ヲ招集ス若議員三分ノ一以上ニ於テ臨時ノ招集ヲ請求スルトキハ之ヲ招集スヘシ

招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス

郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第三十三條 郡會ハ議員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲

スコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付開會再回ニ至ルモ議員猶其半數ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第三十四條 郡會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十五條 議員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ郡會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條 郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ第十八條四ヨリ六ニ至ル規定ニ依ルヘシ

第三十七條 郡會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス
一 郡長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長又ハ議員三名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ
議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井スシテ其可否ヲ決スヘシ

第三十八條 議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日ノ會議
ヲ開閉シ竝ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十九條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井及他人ノ身上ニ涉リ言論スルコ
トヲ得ス

第四十條 會議中此法律若ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員ア
ルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサ
ルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去
セシムヘシ若強抗ニ涉ル者アルトキハ警察官ノ處分ヲ求ムルコトヲ得
議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉

ツルコトヲ得

第四十一條 會議ノ傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騷ニ涉リ其他議事ノ妨害
ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セ
シメ必要ナル場合ニ於テハ警察官ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第四十二條 郡長若ハ特ニ其委任ヲ受ケタル吏員及議員ハ議場ノ秩序ヲ紊
リ又ハ議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第四十三條 郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ掌理セシム
書記ハ議長之ヲ選任ス但郡吏員ヲシテ之ヲ兼シムルコトヲ得

第四十四條 郡會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シ議決及選舉ノ顛末竝ニ出席議
員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ議事録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ

其議員ハ會議ノ前郡會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事録中ニ其氏名ヲ記載シ置クヘシ

第四十五條 郡會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府縣知事ノ認可ヲ受ケテ之ヲ施行スヘシ

第三章 郡參事會、吏員及委員

第四十六條 郡ニ郡參事會ヲ置キ郡長及名譽職參事會員四名ヲ以テ之ヲ組織ス

名譽職參事會員中三名ハ郡會ニ於テ其議員中ヨリ互選シ一名ハ府縣知事ニ於テ郡會議員若ハ郡内町村ノ公民中ヨリ選任スヘシ

第四十七條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ會員ニ於テ臨時議長代理ヲ互選スヘシ

第四十八條 郡會ハ每通常會ニ於テ郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ノ補充員三名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ闕員アルトキハ郡長ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス

第四十九條 名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期限滿ノ後ト雖後任者就職ノ日迄在職スルモノトス
郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ハ補充員ヲ以テ其闕員ヲ補充シ仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月以内ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ

第五十條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ郡會ヲ招

集スルノ暇ナシト認ルトキ郡會ニ代テ議決ヲ爲ス事

三 郡會ノ定メタル方法ノ範圍内ニ於テ郡有財産ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

四 郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

五 郡長其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事

六 郡長ヨリ發スル郡會議案ニ付郡長ニ意見ヲ述ヘ及會議ニ報告スル事

七 臨時必要アルトキ郡ノ出納ヲ検査スル事

其他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事務ヲ處理ス

第五十一條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス

會員半數以上ノ請求アルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

第五十二條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第五十三條 郡參事會ハ議長又ハ其代理者及會員半數以上出席スルニ非サ

レハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

郡參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第五十四條 郡參事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事

件ニ付郡參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ規定ノ爲出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ

該事件ニ關係ナキ者ノ内ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ第四十六條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第五十五條 町村制ノ規定ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ二郡以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其郡長ノ具狀ニ依リ府縣知事ニ於テ其事件ヲ管理スヘキ郡參事會ヲ指定スヘシ二府縣以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ依リ內務大臣ニ於テ之ヲ指定スヘシ

第五十六條 郡長ハ郡會及郡參事會ノ議決ヲ施行シ及郡有ノ財産及營造物ヲ管理シ竝ニ郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス
郡ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ郡長ノ外名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ文書中郡會又ハ參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其議決ヲ經タルモノハ其旨ヲ記入スヘシ

第五十七條 郡會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選舉セス又ハ參事會成立セス又ハ招集ニ應セサルトキハ參事會成立シ又ハ招集ニ應スル迄郡長ハ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ郡參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ郡長ハ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ郡會會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第五十八條 郡ハ府縣稅ヲ以テ支辨スル郡吏員ノ外郡會ノ議決ニ依リ郡ノ費用ヲ以テ郡有財産又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給郡吏

員ヲ置クコトヲ得但其郡吏員ハ他ノ郡吏員ニ準シ府縣知事ニ於テ之ヲ任
免監督ス

前項郡吏員ノ給料手當退隱料等ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金
ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十九條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ郡事務ノ
一部ヲ調査セシメ又ハ郡有財産及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ
得

委員ハ郡會ニ於テ之ヲ選舉ス其選舉ノ方法及任期ハ郡會ノ議決スル所ニ
依ル

委員ハ名譽職トス

第四章 郡ノ會計

第六十條 郡有財産及營造物管理ノ費用郡會郡參事會及委員ノ費用第五

十八條ノ郡吏員ノ給料退隱料其他諸給與及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ト定
ムル事件ノ費用ハ其郡ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第六十一條 郡會議員名譽職參事會員及委員ニハ旅費及日當ヲ給スルコト
ヲ得但日當ハ一日五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十二條 郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財産ヨリ生スル收入其他雜收入
ヲ以テ充ツルモノ、外ハ郡内各町村ニ分賦ス各町村分賦ノ割合ハ各町村
前年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ル

各町村分賦ノ額ハ各町村ニ於テ之ヲ町村ノ豫算ニ編入シ町村稅トシテ徵
收シ其總額ヲ郡金庫ニ納ムヘシ

第六十三條 郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ郡

會ノ議決ニ依リ該部分ノ町村ニ對シ通常分賦額ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ
特ニ夫役現品ヲ増課スルコトヲ得

第六十四條 郡ハ天災事變ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ其郡ノ永久ノ利益ト
爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ郡内町村ノ負
擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ郡會ノ議決ヲ以テ郡債
ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方
法ヲ定ムヘシ

郡債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三
十年以内ニ還了スヘシ

歳入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内ノ

收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス但郡參事會ノ
議決ヲ經ルコトヲ要ス

第六十五條 郡長ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入出豫算ヲ調製スヘシ但郡ノ會
計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參
事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ郡會ニ提
出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ竝ニ費目流用ニ關スル規定ヲ
設クルコトヲ得

第六十六條 豫算ハ毎年郡會ノ議決ヲ取り之ヲ府縣知事ニ報告シ竝ニ郡債
行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル

場合ニ於テモ亦同シ

郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テ其年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其郡有財産表ヲ提出スヘシ

第六十七條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ郡長ニ於テ郡參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第六十八條 郡ノ收支命令ハ郡長之ヲ發スヘシ

第六十九條 會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支

出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第七十條 郡ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨時検査ヲ爲スヘシ検査ハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ニハ郡參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第七十一條 決算ハ會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ニ於テ會計年度後三箇月以内ニ之ヲ郡長ニ提出シ郡長ハ郡參事會ヲシテ之ヲ検査セシメ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書竝ニ之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告シ竝ニ決算ハ郡慣行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章 監督

第七十二條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内

務大臣之ヲ監督ス

第七十三條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外郡ノ行政ニ關スル府縣知事又ハ府縣參事會ノ處分若ハ裁決ニ不服ナル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

郡ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第七十四條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂澁滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ竝ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第七十五條 郡會又ハ郡參事會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フヘシ其權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣知事ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十六條 郡會又ハ郡參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ郡ノ負擔ニ

屬スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ郡會ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十七條 郡會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第七十八條 郡會又ハ郡參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セサル場合ニ於テ其事緊急ヲ要スルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セサル議案歳入出豫算ニ係リ府縣知事ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ

定メ指揮スルコトヲ得

第七十九條 府縣知事ハ郡ノ歳入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除シ及其郡ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第八十條 郡會ハ内務大臣之ヲ解散セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス
郡委員ハ郡會ノ解散ニ依リ解職スルノ限ニ在ラス但改選郡會ノ議決ヲ以テ之ヲ改選スルコトヲ得

郡會解散ノ後改選了ニ至ル迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ郡長之

ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第八十一條 左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一 新ニ郡債ヲ起シ又ハ其額ヲ増加シ若ハ償還ノ方法ヲ變更スル事

第八十二條 左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一 郡有不動産ノ賣却讓渡竝ニ質入書入ノ事

二 第六十三條ニ依リ郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ增課スル事

三 第六十六條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期内ニ議決ヲ變更スル事

第六章 附則

第八十三條 郡内總町村ノ共有ニ屬スル財産及營造物ハ郡内總町村ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セル小學校ヲ除クノ外此法律施行ノ日ヨリ郡ノ所有ニ歸シ其權利義務トモ同時ニ郡ニ移ルモノトス

第八十四條 府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十五條 島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第八十六條 此法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事會ノ職務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十七條 町村制施行ノ爲ニ定ムル直接稅ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テ

モ亦適用ス

第八十八條 此法律施行ノ後ハ町村制第二百二十六條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租七分ノ一、五(十四分ノ三)ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第八十九條 此法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第九十條 明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法其他此法律ニ抵触スル成規ハ此法律施行ノ地ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第九十一條 内務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之カ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

朕沖繩縣及小笠原島地方費ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

内閣總理大臣伯爵山縣有朋

明治二十三年五月二十一日

内務大臣伯爵西郷從道

大藏大臣伯爵松方正義

法律第三十七號(官報五月二十二日)

沖繩縣及小笠原島ノ地方經濟ニ屬スル費用ハ其地方人民ノ負擔スルモノヲ除クノ外從前ノ通り國庫ヨリ之ヲ支辨ス

朕市町村會議員選舉罰則ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

沖繩縣及小笠原島地方費支辨方 市町村議員選舉罰則

内閣總理大臣伯爵山縣有朋

内務大臣伯爵西郷從道

司法大臣伯爵山田顯義

明治二十三年五月二十九日

法律第三十九號(官報 五月三十日)

市町村會議員選舉罰則

第一條 凡テ選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

議員タルコトヲ得サルノ實ヲ告ケスシテ議員トナリタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ

職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

其授與又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第三條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉會場ノ近傍若クハ選舉人往來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シタル者ハ第二條物品授與ノ例ニ依リ處斷ス

其供給ヲ受ケタル者亦同シ

第四條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ノ爲ニ選舉會場ニ往復スル車馬賃又ハ路費若クハ休泊料ノ類ヲ代辦シ又ハ代辦スルコトヲ約束シタル者ハ第二條金錢授與ノ例ニ依リ處斷ス
其代辦又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第五條 第二條第三條及第四條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス

第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ脅逼シ撈引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐僞ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ

第六條暴行ノ例ニ依リ處斷ス

第八條 第六條及第七條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九條 選舉人ヲ脅逼シ若クハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若

クハ劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 選舉ノ際選舉ニ關スル吏員若クハ選舉掛ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十一條 多衆ヲ嘯聚シテ第十條ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 第九條第十條第十一條ノ場合ニ於テ犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第十三條 選舉會場所在ノ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用ヅル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受ルモ仍其命ニ從ハサル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十四條 被選人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被選人タルコトヲ得ス又ハ當選ヲ承諾スルノ意ナシトノ虛報ヲ流傳セシメタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 戎器又ハ兇器ヲ携帯シテ選舉會場ニ入りタル者ハ三圓以上三十

圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シ又ハ選舉人タルコトヲ得スシテ投票ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 當選人第二條乃至第十六條ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ハ無効トス

第十九條 本法ニ規定シタルモノノ外刑法ニ正條アルモノハ各、其條ニ依リ重キニ從テ處斷ス

第二十條 本法ニ關スル犯罪ハ六箇月ヲ以テ期滿免除トス

第二十一條 本法ハ市町村會ノ外市制町村制竝ニ明治二十二年法律第十一

號ニ據リテ開設スル各種ノ議會ノ議員選舉ニモ適用ス

朕衆議院議員選舉法罰則補則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

内閣總理大臣伯爵山縣有朋

明治二十三年五月二十九日

内務大臣伯爵西鄉從道

司法大臣伯爵山田顯義

法律第四十號(官報 五月三十日)

衆議院議員選舉法罰則補則

第一條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ選舉會場又ハ投票所ノ近傍若クハ選舉人往

來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場若クハ投票所ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シ及其供給ヲ受ケタル者又ハ選舉人ノ爲ニ選舉會場若クハ投票所ニ往復スル車馬賃又ハ路費若クハ休泊料ノ類ヲ代辦シ又ハ代辦スルコトヲ約束シ及其代辦又ハ約束ヲ受ケタル者ハ衆議院議員選舉法第九十條ノ例ニ依リ處斷ス

第二條 第一條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ脅逼シ拐引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐僞ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ衆議院議員選舉法第九十二條ノ例ニ依リ處斷ス
本條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第一條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ衆議院議員選舉法第九十三條ノ例ニ依リ處斷ス

第三條 被選人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被選人タルコトヲ得ス又ハ當選

ヲ承諾スルノ意ナシトノ虚報ヲ流傳セシメタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 選舉會場又ハ投票所所在ノ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用井ル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受クルモ仍其命ニ從ハサル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五條 第一條ニ記載シタル目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 當選人第一條乃至第四條ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ衆議院議員選舉法第九十九條ノ例ニ依ル

第七條 本法ニ關スル犯罪ハ衆議院議員選舉法第一百四條ノ例ニ依ル

朕府縣會議員選舉ニ衆議院議員選舉法罰則補則ヲ適用スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

內閣總理大臣伯爵山縣有朋

明治二十三年五月二十九日

內務大臣伯爵西鄉從道

司法大臣伯爵山田顯義

法律第四十一號(官報 五月三十日)

明治二十二年二月法律第六號府縣會議員選舉規則ニ依ル選舉ニハ府縣制ヲ施行スル迄ノ間衆議院議員選舉法罰則補則ヲ適用ス但其ノ第二條第一項ニ

衆議院議員選舉法第九十二條ヲ適用スル場合ニ於テハ府縣會議員選舉規則第六十二條其ノ第二條第二項ニ衆議院議員選舉法第九十三條ヲ適用スル場合ニ於テハ府縣會議員選舉規則第六十三條ヲ適用スルモノトス
府縣會議員選舉規則中此ノ法律ニ矛盾スルモノハ効力ヲ有セス

勅令

朕中央備荒儲蓄金會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年五月十二日

大藏大臣伯爵松方正義

勅令第七十七號(官報 五月十三日)

中央備荒儲蓄金會計規則

第一條 左ノ諸收入ヲ以テ中央備荒儲蓄金ノ歲入トス

第一 預金利子

第二 米穀賣拂代

第三 雜收入

第二條 左ノ諸支出ヲ以テ中央備荒儲蓄金ノ歲出トス

中央備荒儲蓄金會計規則

- 第一 府縣備荒儲蓄金補助
- 第二 米穀購入代
- 第三 米穀運送費
- 第四 粃摺及搗精費
- 第五 米穀保存及取扱費
- 第六 藏敷料及諸手數料
- 第三條 歲入歲出ノ豫定計算書及決定計算書ハ大藏大臣之ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ
- 第四條 大藏大臣ハ其年三月三十一日現在ノ中央備荒儲蓄金高明細表ヲ調製シ毎年度ノ豫定計算書ニ添付スヘシ
- 第五條 收入官吏ハ歲入ヲ收納スルトキハ中央備荒儲蓄金ノ寄托トシテ直

- ニ之ヲ預金局ニ拂込ヘシ
- 第六條 大藏大臣ハ府縣ノ備荒儲蓄金補助トシテ中央備荒儲蓄金ヲ支出セントスルトキハ命令ヲ預金局ニ下シテ寄托金ヲ支出セシメ之ヲ一般ノ歲入ニ繰入ルヘシ
- 第七條 大藏大臣ハ米穀ノ賣買保存ニ關スル費用ヲ支出セントスルトキハ命令ヲ預金局ニ下シテ寄托金ヲ支出シ之ヲ主任官吏ニ交付セシメ主任官吏ヲシテ仕拂ヲ執行セシムヘシ
- 第八條 毎年度内ニ收入ヲナスヘキ權利ヲ得テ當該年度内ニ收入濟トナラサルモノハ收入未濟トシテ順次翌年度へ繰越シ現ニ收入ヲナシタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ
- 第九條 毎年度内ニ仕拂ヲナスヘキ義務ヲ生シ當該年度内ニ支出ノ請求ナ

キモノハ支出未済トシテ其定額ヲ順次翌年度へ繰越シ支出ノ請求アル毎ニ仕拂ノ命令ヲ發スヘシ

第十條 米穀ヲ購入スルニ當リ臨時急施ヲ要スルトキハ競争ニ附セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得

第十一條 入札ノ方法ヲ以テ米穀ヲ賣却スルトキハ其入札期日ヨリ少ナクモ三日以前ヨリ揭示又ハ官報新聞紙其他ノ方法ヲ以テ成ルヘク廣ク公告スヘシ

第十二條 收入官吏仕拂官吏及物品會計官吏ヨリ會計検査院ニ提出スヘキ計算書ヲ大藏大臣ニ送附スルハ毎年度經過後二箇月以内トス

第十三條 本規則ニ掲ケサル中央備荒儲蓄金會計ノ規程ハ總テ明治二十二年勅令第六十號會計規則ニ準據スヘシ

朕貨幣鑄造ニ要スル地金買入ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年六月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

勅令第四百四號

貨幣鑄造ニ要スル地金銀銅白銅ノ買入ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム此場合ニ於テハ競争ニ付セサルコトヲ得

朕郵便爲替金及郵便貯金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

貨幣鑄造ニ要スル地金買入ノ件 郵便爲替金及郵便貯金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件

明治二十三年六月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義
逓信大臣伯爵後藤象二郎

勅令第百五號

第一條 郵便爲替金及郵便貯金ヲ取扱フ出納官吏ハ明治二十三年勅令第四號第一條ノ制限ニ依ラス身元保證金ヲ納ムヘシ

第二條 三等郵便電信局及三等郵便局ノ前條出納官吏ニハ明治二十三年勅令第四號第二條ノ但書ヲ適用セス

第三條 會計規則第百四條第百五條及明治二十三年勅令第四號第六條ニ依リ大藏大臣ノ爲スヘキ職務ハ逓信大臣之ヲ行フヘシ

省 令

大藏省令第十三號

明治二十二年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十六條左ノ通修正追加ス

明治二十三年五月十七日

大藏大臣伯爵松方正義

第一收入金高五拾圓未滿ハ 每一箇月
從前ノ第一ヲ第二トシ以下順次繰下ク

大藏省令第十五號

本年大藏省令第八號保管金取扱規程中左ノ通リ改正ス

明治二十三年六月十三日

大藏大臣伯爵松方正義

出納官吏現金取扱規則第十六條修正追加 保管金取扱規程中改正

第二十一條第三項中ノ「日本銀行本支店又ハ其代理店」ヲ「預金本局又ハ本支

金庫」ト改ム

第二十二條「日本銀行本支店又ハ其代理店」ヲ「預金本局又ハ本支金庫」ト改ム

訓令

大藏省訓令第六十號

金庫出納役

保管金受渡事務順序中左ノ通改正ス

明治二十三年四月十六日

大藏大臣伯爵松方正義

第十四條中第三十條ヲ第二十九條ト改ム

第十五條中第三十二條ヲ第三十一條ト改ム

第十六條中第三十三條ヲ第三十二條ト改ム

同條中第三十四條ヲ第三十三條ト改ム

同條中預金即時拂戻豫算額差引簿ヲ預金拂戻豫算額差引簿ト改ム

第十八條中第三十七條ヲ第三十六條ト改ム

保管金受渡事務順序中改正

第二十條中第四十四條ヲ第四十三條ト改ム

大藏省訓令第六十一號

收入官吏 金庫出納役

明治二十二年^月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十六條ニ據リ租
稅其他ノ收入ヲ拂込ムヘキ場合ハ當該收入官吏ノ在勤スル官廳ノ出納區域
ニ屬スル金庫ヘ拂込ムヘキ儀ト心得ヘシ

明治二十三年四月十八日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六十二號

北海道廳 府縣

日本銀行

明治十九年度同二十年度同二十一年度所屬ノ歲入歲出金ニシテ各廳ニ於テ
科目其他ノ誤謬ヲ發見シ其訂正方ヲ當省ヘ請求スルトキハ金庫ヘ令達シ
テ金庫帳簿ノ訂正ヲナサシメ來リ候處本年四月一日已降ハ各廳ト金庫ノ
間ニ係ル科目其他ノ誤謬ヲ發見スルモ之レカ訂正ヲ爲サシメサルモノト
ス

明治二十三年四月十九日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六十三號

金庫出納役

作業及鐵道會計金庫出納事務規程左ノ通心得ヘシ

出納官吏現金取扱規則第十六條ノ租稅其他收入拂込方 十九年二十年廿一年度歲入出料
目其他ノ誤謬ハ訂正セシメス 作業及鐵道會計金庫出納事務規程

明治二十三年四月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

作業及鐵道會計金庫出納事務規程

第一章 總則

第一條 金庫ニ於テ此規程ニ據リ出納ヲ爲スハ造幣局、印刷局、富岡製絲所、電信燈臺用品製造所、廣島鑛山、東京砲兵工廠、大阪砲兵工廠、千住製絨所、鐵道局、鎮守府造船所ノ歲入歲出金トス

第二條 金庫ハ作業及鐵道會計規則第十二條鎮守府造船材料資金會計規則

第四條ノ歲入金ヲ收入シ又仕拂命令官ノ請求ニ應シ之レヲ該作業所又ハ鐵道ノ歲出仕拂元受金ニ加フヘシ

作業及鐵道ノ仕拂命令官ヨリ其歲入ヲ仕拂元受金ヘ組換ヘントスルトキ其請求書ハ各其會計主務官ヲ經テ金庫ヘ送付スヘキニ付金庫ニ於テハ該

會計主務官ノ檢印ヲ認メ組換ノ記帳ヲナスヘシ

各地本金庫(長野本金庫ヲ除ク)ニ於テ領收セシ鐵道歲入金ハ每五十ノ日(月末大ノ月ハ三十一日)

二月ハ二十八日若クハ二十九日以下之レニ同シ)ニ中央金庫ヘ振換回送セシムヘシ

鐵道歲入ヲ鐵道局ノ仕拂元受金ヘ組換ヲナスハ中央金庫及長野本金庫ニ限ルモノトス

金庫ハ作業及鐵道歲入ヲ各其仕拂元受金ニ組換ヲナシタルトキ又ハ第三時ノ据置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高ヲ仕拂元受金ニ組換タルトキハ同條ニ第一號書式仕拂元受金ニ組換報告書ヲ製シ會計主務官ヲ經テ其仕拂命令官ヘ送付スヘシ

第三條 作業及鐵道會計規則第十三條ニ據リ仕拂命令官ヨリ作業所据置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高ヲ金庫ヘ受ケタルトキハ直ニ之レヲ作業所

仕拂元受金ニ加フヘシ

第四條 金庫ニ於テ仕拂元受額ニ超過スル案内仕拂請求書ヲ受領スルヲ得ス故ニ案内仕拂請求書ヲ受クルトキハ其時々之レヲ仕拂元受額ノ殘高ニ對比シ若シ仕拂元受額ノ殘高不足スルトキハ直ニ之レヲ返付スヘシ

第五條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂請求書ニシテ其年三月三十一日迄ニ現金仕拂ノ請求ナキモノハ作業及鐵道會計規則第二十四條ニ據リ翌年度へ繰越シ仕拂ヲナスヘシ其繰越ノ取扱方ハ金庫出納事務規程第十八條ニ同シ

第六條 金庫ニ於テ作業及鐵道ノ出納ヲナスニ付此規程ニ記載ナキ計算整理及報告表提出期限等ノ條項ハ總テ金庫出納事務規程ニ據リ取扱フモノトス

第二章 帳簿及計算報告

第一款 中央金庫

第七條 中央金庫ハ金庫出納事務規程第三十二條ニ規定シタルモノ、外作業及鐵道會計規則鎮守府造船材料資金會計規則ニ據リ出納スル現金整理ノ爲メ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ

第一 各金庫作業及鐵道歲入金各廳内譯簿

第二 各金庫作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿

第八條 各金庫作業及鐵道歲入金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之レヲ設ケ中央金庫及之レニ屬スル支金庫竝ニ各本金庫ヲ區分シ各作業所及鐵道局毎ニ細別シ中央金庫及之レニ屬スル支金庫ニ於テ收入スルモノハ尙收入官吏ヲ區分シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書（納入告知書仕拂込書仕拂命令官ヨリ歲入ヲ仕拂元受金へ組換請求

書 中央金庫ニ屬スル支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル作業若クハ鐵道歲入報告表本金庫ニ係ルモノハ本金庫ヨリ送付スル毎五十ノ日作業若クハ鐵道歲入報告表ヲ得テ毎日之レヲ歲入額ノ欄ニ記入シ又仕拂命令官ノ請求ニ應ジ歲入額ヨリ歲出仕拂元受金へ組換ヲナシタルモノハ仕拂元金へ組換額鐵道歲入ヨリ仕拂元受金へ組換ヲナシタルモノハ仕拂元金へ組換額スハ中央金庫及長野本金庫ニ限ルノ欄ニ登記スヘシ其書式第二號ノ如シ

第九條 各金庫作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之レヲ設ケ中央金庫及之レニ屬スル支金庫竝ニ各本金庫ヲ區分シ各作業所及鐵道局毎ニ細別シ中央金庫及之レニ屬スル支金庫ニ於テ出納スルモノハ尙仕拂命令官毎ニ區分シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書資本持越高ヲ仕拂元受額ヨリ仕拂元受金へ組換ノ請求書案内仕拂請求書仕拂請求書中央金庫ノ支金庫ニ係ルモノハ該支金庫

ヨリ毎日送付スル作業歲出仕拂元金出納各廳内譯表本金庫ニ係ルモノハ本金庫ヨリ送付スル毎五十ノ日作業及鐵道歲出仕拂元金出納報告表ヲ得テ毎日之レヲ登記スヘシ其書式第三號ノ如シ

第十條 中央金庫ニ於テ現金出納原簿へ「某年度作業歲入」「某年度作業歲出仕拂元金」「某年度鐵道歲入」「某年度鐵道歲出仕拂元金」ノ科目ヲ設ケ各金庫作業及鐵道歲入金各廳内譯簿各金庫作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿ノ合計ヲ以テ毎日之レヲ登記スヘシ

第十一條 中央金庫ニ於テハ現金出納原簿各金庫作業及鐵道歲入金各廳内譯簿各金庫作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿現金種類別簿及各地本金庫内譯簿ニ據リ毎日第四號書式ノ作業及鐵道歲入歲出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ翌日大藏省へ差出スヘシ

第十二條 中央金庫ニ於テ直接ニ作業及鐵道歲入ヲ領收セシモノハ該歲入内譯簿ニ據リ毎月第五號書式ノ作業若クハ鐵道歲入金月計對照表ヲ調製シ之レヲ當該收入官吏ヘ送付シ證明ヲ請フヘシ

作業及鐵道歲出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノハ該歲出内譯簿ニ據リ毎月第六號書式ノ作業若クハ鐵道歲出金月計對照表ヲ調製シ之レヲ當該會計主務官ヘ送付シ證明ヲ請フヘシ

第十三條 中央金庫ニ於テハ現金出納原簿及各金庫作業及鐵道歲入金各廳内譯簿ニ據リ第七號書式ノ作業及鐵道歲入毎月計算表ヲ調製シ又現金出納原簿及各金庫作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ第八號書式ノ作業及鐵道歲出仕拂元金出納毎月計算表ヲ調製シ之レニ當該收入官吏及會計主務官ヨリ返付ヲ受ケタル月計對照表及各地金庫ヨリ送付セル月計

對照表ヲ添付シ大藏省ヘ差出スヘシ

第二款 本金庫

第十四條 本金庫ハ金庫出納事務規程第四十六條ニ規定シタルモノ、外作業及鐵道會計規則鎮守府造船材料資金會計規則ニ據リ出納スル現金整理ノ爲メ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ但第二項帳簿ノ内鐵道ノ歲出アルハ長野本金庫ニ限ルモノトス

第一 作業及鐵道歲入金各廳内譯簿

第二 作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿

第十五條 作業及鐵道歲入金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之レヲ設ケ本金庫及支金庫ヲ區分シ各作業所及鐵道局毎ニ收入官吏ヲ細別シ本金庫ニ係ルモノハ各證憑書納入告知書拂込書仕拂命令官ヨリ支金庫ニ係ルモノハ各證憑書歳入ヲ仕拂元受金ヘ組換請求書

庫ヨリ送付スル作業若クハ鐵道歲入報告表ニ據リ毎日之レヲ歲入額及仕拂元金へ組換額ノ欄ニ登記スヘシ其書式第九號ノ如シ

各地本金庫長野本金庫ヲ除ク鐵道歲入ハ該内譯簿中仕拂元金へ組換額ノ八字ヲ中

央金庫へ振換回送額ノ十字ニ換へ中央金庫へ振換回送セシトキハ同欄内

ニ記入スヘシ

各地本金庫長野本金庫ヲ除クニ於テ領收セシ鐵道歲入金ヲ每五十ノ日ニ中央金庫

へ振換回送ニナセシトキハ貸方現金借方某年度鐵道歲入トシ本文振換ハ本金庫原簿

上ノ金額ヲ以テ轉記スヘキニ付支金庫ニ係ル分ハ自ラ右金額ニ包含スルニヨリ支金庫ニ於テハ振換記帳ヲナサハルモノトス同時ニ貸

方中央金庫ヨリ振換回送借方現金ノ記帳ヲナスヘシ

第十六條 作業及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之レヲ設ケ本

金庫及支金庫ヲ區分シ各作業所及鐵道局毎ニ仕拂命令官ヲ細別シ本金庫

ニ係ルモノハ各證憑書資本持越高ヲ仕拂元受金ニ組込ノ通知書歲入額ヨリ仕拂元受金へ組換ノ請求書案内仕拂請求書仕拂

書請求支金庫ニ係ルモノハ支金庫ヨリ毎日送付スル作業歲出仕拂元金出納

各廳内譯表ニヨリ毎日之レヲ登記スヘシ其書式第十號ノ如シ但鐵道ノ歲

出アルハ長野本金庫ニ限ルモノトス

第十七條 本金庫ニ於テ現金出納原簿へ「某年度作業歲入」「某年度作業歲出

仕拂元金」「某年度鐵道歲入」「某年度鐵道歲出仕拂元金」鐵道歲出仕拂元金ノ科目ハ長野本金

庫ニノ科目ヲ設ケ作業及鐵道歲入金各廳内譯簿作業及鐵道歲出仕拂元金

各廳内譯簿ノ合計ヲ以テ毎日之レヲ登記スヘシ

第十八條 本金庫ニ於テハ現金出納原簿作業及鐵道歲入金各廳内譯簿作業

及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿及現金種類別簿ニ據リ每五十ノ日ニ第十

一號書式甲乙ノ作業歲入報告表鐵道歲入報告表及第十二號書式ノ作業及

鐵道歲出仕拂元金出納報告表ヲ調製シ之レヲ中央金庫へ送付スヘシ
 第十五條第三項ノ鐵道歲入ヲ每五十ノ日ニ中央金庫へ振換回送ニナシ而
 シテ其現金ヲ更ニ中央金庫ヨリ回送トシテ振換受入レタル記帳竝ニ回送
 及振換拂報告表ニ記載スルハ金庫出納事務規程ノ定ムル所ニ據ル
 第十九條 本金庫ニ於テ直接ニ作業及鐵道歲入金ヲ領收シ及作業及鐵道歲
 出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノ、月計對照表調製方ハ第十二條ニ同シ
 第二十條 本金庫ニ於テハ現金出納原簿作業及鐵道歲入金各廳内譯簿作業
 及鐵道歲出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ第十三號書式ノ作業及鐵道歲入每
 月計算表及第十四號書式ノ作業及鐵道歲出仕拂元金毎月計算表ヲ調製シ
 之レニ當該收入官吏及會計主務官ヨリ返付ヲ受ケタル歲入歲出月計對照
 表及支金庫ヨリ送付スル月計對照表ヲ添付シ中央金庫へ差出スヘシ

第三款 支金庫

第二十一條 支金庫ニ於テ作業及鐵道會計規則鎮守府造船材料資金會計規
 則ノ出納ヲ取扱フトキハ現金受拂簿摘要中特ニ左ノ科目ヲ設ケ其出納ヲ
 登記スヘシ

某年度作業歲入

(作業所歲入ノ納付アリシトキ用フル科目)

某年度鐵道歲入

(鐵道歲入ノ納付アリシトキ用フル科目)

某年度作業歲出仕拂元金

(作業歲入ヲ該作業所仕拂命令官ヨリ作業仕拂元受金へ組換ノ請求ニ因リ組換ヲナシ而

シテ仕拂請求書ニヨリ現金ヲ仕拂ヒタルトキ用フル科目)

第二十二條 支金庫ニ於テ作業及鐵道會計ノ出納ヲ取扱フトキハ金庫出納
 事務規程第五十九條ニ規定シタルモノ、外ニ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ

第一 作業及鐵道歲入金各廳内譯簿

第二 作業歳出仕拂元金各廳内譯簿

第二十三條 作業及鐵道歳入金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之レヲ設ケ作業所及鐵道局毎ニ收入官吏ヲ區分シ納入告知書若クハ拂込書ニ據リ歳入額ノ欄ニ記入シ追テ該作業所仕拂命令官ヨリ仕拂元受金ヘ組換ノ請求ヲ受ケタルトキ仕拂元金ヘ組換額ノ欄ニ記入スヘシ其書式第九號ニ準ス但鐵道歳入ハ歳入額ノ欄ニ記入スルノミトス

第二十四條 作業歳出仕拂元金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之レヲ設ケ作業所毎ニ區分シ作業及鐵道會計規則第十三條ノ運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高ヲ受ケタルトキハ資本持越高ノ欄ニ又作業歳入ヨリ仕拂元受金ヘ組換ノ請求ニ應シタルトキハ歳入ヨリ組換ノ欄ニ記入シ追テ作業歳出即案内仕拂請求書ヲ受ケタルトキ案内仕拂請求書受領額ノ欄ヘ登記シ仕拂請求書ニ據リ現

金ヲ交付シタルトキハ現金仕拂額ノ欄ニ登記スヘシ其書式第十號ニ準ス

第二十五條 支金庫ニ於テ作業及鐵道歳入各廳内譯簿ニ據リ毎日第十五號書式甲乙ノ作業歳入報告表鐵道歳入報告表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第二十六條 支金庫ニ於テ作業歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ毎日第十六號書式ノ作業歳出仕拂元金出納各廳内譯表ヲ調製シ之レヲ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第二十七條 支金庫ニ於テ作業及鐵道歳入及作業歳出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノ、月計對照表調製方ハ第十二條ニ同シ但證明濟乙號月計對照

表ハ本金庫ニ屬スル支金庫ニアツテハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニアツテハ中央金庫へ差出スヘシ

大藏省訓令第六十四號

會計主務官

作業及鐵道歲出仕拂命令官ヨリ据置資本持越額ヲ該歲出仕拂元受金へ組込ミ又ハ作業及鐵道歲入金ヨリ該歲出仕拂元受金へ組換ノ爲メ金庫へ差出ス請求書ニハ會計主務官檢印ヲナスヘシ

前項ノ請求書ニ據リ金庫ニ於テ歲出仕拂元受金へ組込ミタルトキハ二十三年^四大藏省訓令第六十三號書式ノ仕拂元受金へ組換報告書ヲ調製シ之レヲ會計主務官ヲ經テ仕拂命令官へ送付スヘキニ付會計主務官ニ於テ之レヲ調

査シ該報告書ニ式ノ如ク記名捺印シ之レヲ該仕拂命令官へ送付スヘシ

前項仕拂命令官へ仕拂元受金へ組換報告書ヲ送付スルト同時ニ該報告書寫ヲ以テ大藏大臣へ報告スヘシ

作業及鐵道歲出仕拂命令官ヨリ仕拂請求書ヲ得タルトキハ前各項ノ歲出仕拂元受金ニ組換ヘタル金額ニ超過セサル様検査スヘシ

明治二十三年四月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六十五號

金庫出納役

明治二十三年^二大藏省令第三號國稅徵收法施行細則附屬徵稅令書及ヒ納付書様式中ニ取扱主任ノ收入官吏官氏名ヲ記入スヘキ儀規定シ有之候處右ハ

作業及鐵道歲出仕拂ニ係ル件 國稅徵收法施行細則附屬徵稅令書及納付書様式中收入官吏記名方

其取扱廳ノ便宜ニ從ヒ同時ニ二名ノ收入官吏ヲ置ク場合ニ於テハ連帶責任ノ趣旨ヲ以テ右徵稅令書及ヒ納付書ニモ二名ノ收入官吏ヲ連署スヘキ筈ニ付金庫ニ於テ收入官吏毎ニ區分スヘキ帳簿ニハ總テ其連署セル二名ヲ以テ一口座トナシ稅金領收日計表歲入金月計對照表ヲモ連署セル二名ノ收入官吏ニ宛テ差出シ而シテ月計對照表ニ證明ヲ受クルニモ亦連署セル二名ノ收入官吏ノ證明ヲ受クル儀ト心得ヘシ

但シ本文二名ノ收入官吏連帶責任ノ場合ニ於テ其一名交替セシトキハ他ノ一名モ同時ニ交替セシモノト見做シ其都度帳簿上新ニ口座ヲ設ケテ記帳シ月計對照表等モ同様新規ニ調製シ前月ノ累計等ハ掲ケサル儀ト心得ヘシ

明治二十三年四月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六十七號

北海道廳 府縣

國稅ノ徵收ヲ取扱フ收入官吏ヲ一箇所ニ二名ヲ置キタル地方ニ於テハ其徵稅令書及ヒ納付書中ニ其二人ノ官氏名ヲ記載シ收入官吏現金拂込書ハ其二名ヲシテ連署セシムヘシ

明治二十三年四月二十二日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六十八號

會計主務官 金庫出納役

本年二月大藏省訓令第十八號附屬ノ領收證書ニシテ證券印紙ノ貼用ヲ要スヘ

國稅收入官吏二名ヲ置キタル地方ニ徵稅令書納付書及現金拂込書ニ記名方 會計主務官 領收證書印紙ヲ貼用スヘキ領收證書ニ記入捺印方

キモノヘハ會計主務官於テ其旨ヲ記入又ハ捺印ノ上現金受取人へ交付スヘシ
金庫ハ前項ノ記入又ハ捺印アルヲ認メ現金受取人ニ印紙ヲ貼用セシメ其領收證書ヲ徴スヘシ

明治二十三年四月二十四日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六十九號

金庫出納役

官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程左ノ通り心得ヘシ

明治二十三年四月二十八日

大藏大臣伯爵松方正義

官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程

第一章 總則

第一條 金庫ハ此規程ニ據リ官立學校及圖書館會計規則第十八條ノ歲入金ヲ領收シ(歲入金領收ノ順序ハ總テ)大藏大臣ノ令達ニ據リ既ニ領收セシ歲入金ヲ歲出ノ仕拂元金ニ組換ヘ及ヒ官立學校圖書館ノ歲出仕拂命令官ノ仕拂請求書ニ據リ歲出ノ仕拂ヲナスヘシ

第二條 金庫ハ官立學校及圖書館歲出仕拂元金額ニ超過スル案内仕拂請求書ヲ受領スルヲ得ス

案内仕拂請求書ヲ受領セシトキハ其時々之レヲ歲出仕拂元金ノ殘高ニ對比シ若シ仕拂元金ノ殘高不足スルトキハ直ニ該案内仕拂請求書ヲ會計主務官ヘ返付スヘシ

第三條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂請求書ニシテ翌年度四月三十日迄ニ現金

仕拂ノ請求ナキモノハ官立學校及圖書館仕拂命令官ノ請求ニ依リ翌年度
へ繰越ノ順序ヲナスハシ

第四條 官立學校及圖書館ノ歲入金ヲ歲出仕拂元金ニ組換ヲナストキハ大
藏大臣ヨリ金額、收入官吏、仕拂命令官、年度、金庫ヲ區分シタル第一號書式
ノ組換令達書ヲ金庫へ交付スヘキニ付當該金庫ニ於テ組換ノ順序ヲナス
ヘシ

第五條 金庫ニ於テ官立學校及圖書館歲入歲出金ノ出納ヲナスニ付此規程
ニ記載ナキ計算整理及報告表提出期限等ノ條項ハ總テ金庫出納事務規程
ニ據リ取扱フモノトス

第二章 帳簿及計算報告

第一款 中央金庫

第六條 中央金庫ハ金庫出納事務規程第三十二條ニ規定シタルモノ、外官
立學校及圖書館會計規則ノ歲入歲出金ヲ整理スル爲メ左ノ内譯簿ヲ備フ
ヘシ

第一 各金庫官立學校及圖書館歲入金各廳内譯簿

第二 各金庫官立學校及圖書館歲出仕拂元金各廳内譯簿

第七條 各金庫官立學校及圖書館歲入金各廳内譯簿ハ第二號書式ニヨリ各
年度毎ニ之レヲ設ケ中央金庫及之レニ屬スル支金庫竝ニ各本金庫ヲ區分
シ尙各官立學校及圖書館毎ニ收入官吏ヲ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各
證憑書納入告知書 仕拂込書 大藏大臣ヨリ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ係ルモ
ノハ該支金庫ヨリ毎日送付スル官立學校歲入金收支報告表本金庫ニ係ル
モノハ本金庫ヨリ每五十ノ日月未大ノ月ハ三十一日 二月ハ二十九日 以下之ニ同シニ送付ス

ル官立學校歳入金收支報告表ヲ得テ之レヲ歳入額ノ欄ニ記入スヘシ
 官立學校及圖書館ノ歳入金ヲ歳出仕拂元金へ組換ヘキ大藏大臣ノ令達ヲ
 受ケタルトキハ其中央金庫ニ於テ直接ニ領收セシ分ハ該令達ニ依リ直ニ
 本簿仕拂元金へ組換額ノ欄ニ記入シ中央金庫ニ屬スル支金庫及各本金庫
 ニ係ルモノハ當該各金庫ニ於テ組換ヲナシタル前項歳入金收支報告表ニ
 依リ本簿へ記入スヘシ

第八條 各金庫官立學校及圖書館歳出仕拂元金各廳内譯簿ハ第三號書式ニ
 ヨリ各年度毎ニ之レヲ設ケ中央金庫及之レニ屬スル支金庫竝ニ各本金庫
 ヲ區分シ尙各官立學校及圖書館毎ニ仕拂命令官ヲ細別シ中央金庫ニ係ル
 モノハ各證憑書大藏大臣ヨリ歳入ヲ仕拂元金へ組換
 令達書案内仕拂請求書仕拂請求書中央金庫ニ屬スル支
 金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ毎日送付スル官立學校歳出仕拂元金收支

報告表本金庫ニ係ルモノハ本金庫ヨリ毎五十ノ日ニ送付スル官立學校歳
 出仕拂元金收支報告表ヲ得テ毎日之レヲ記入スヘシ

第九條 中央金庫ニ於テ現金出納原簿へ「某年度官立學校及圖書館歳入」某
 年度官立學校及圖書館歳出仕拂元金」ノ科目ヲ設ケ第七條第八條各廳内
 譯簿ノ合計額ヲ以テ毎日之レヲ記入スヘシ

第十條 中央金庫ニ於テ現金出納原簿各金庫官立學校及圖書館歳入金各廳
 内譯簿各金庫官立學校及圖書館歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ毎日第四
 號書式甲乙ノ各金庫官立學校及圖書館歳入金收支報告表各金庫官立學校
 及圖書館歳出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ翌日大藏省へ差出スヘシ

第十一條 中央金庫ニ於テ直接ニ官立學校及圖書館ノ歳入ヲ領收セシモノ
 ハ該歳入内譯簿ニ據リ毎月第五號書式ノ官立學校若クハ圖書館歳入金月

計對照表ヲ調製シ之レヲ當該收入官吏へ送付シ證明ヲ請フヘシ
又直接ニ官立學校及圖書館歲出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノハ該歲出
内譯簿ニ據リ毎月第六號書式ノ官立學校若クハ圖書館歲出金月計對照表
ヲ調製シ之レヲ當該會計主務官ニ送付シ證明ヲ請フヘシ

第十二條 中央金庫ニ於テハ現金出納原簿及各金庫官立學校及圖書館歲入
金各廳内譯簿ニ據リ第七號書式ノ官立學校及圖書館歲入毎月計算表ヲ調
製シ又現金出納原簿及各金庫官立學校及圖書館歲出仕拂元金各廳内譯簿
ニ據リ第八號書式ノ官立學校及圖書館歲出仕拂元金出納毎月計算表ヲ調
製シ之レニ當該收入官吏及會計主務官ヨリ返付ヲ受ケタル月計對照表及
各地金庫ヨリ送付セル月計對照表ヲ添付シ大藏省へ差出スヘシ

第二款 本金庫

第十三條 本金庫ハ金庫出納事務規程第四十六條ニ規定シタルモノ、外官
立學校及圖書館會計規則ノ歲入歲出金ヲ整理スル爲メ左ノ内譯簿ヲ備フ
ヘシ

第一 官立學校歲入金各廳内譯簿

第二 官立學校歲出仕拂元金各廳内譯簿

第十四條 官立學校歲入金各廳内譯簿ハ第二號書式ニ準シ各年度毎ニ之レ
ヲ設ケ本金庫及支金庫ヲ區分シ各官立學校毎ニ收入官吏ヲ細別シ本金庫
ニ係ルモノハ各證憑書歲入告知書拂込書大藏大臣ヨリ支金庫ニ係ルモノ
ハ支金庫ヨリ送付スル官立學校歲入金收支報告表ニ據リ毎日之レヲ歲入
額ノ欄ニ記入スヘシ

官立學校ノ歲入金ヲ歲出仕拂元金へ組換ヘキ大藏大臣ノ令達ヲ受ケタル

トキハ其本金庫ニ於テ直接ニ領收セシ分ハ該令達ニ依リ直ニ本簿仕拂元金へ組換額ノ欄ニ記入シ支金庫ニ係ルモノハ支金庫ニ於テ組換ヲナシタル前項歳入金收支報告表ニヨリ本簿へ記入スヘシ

第十五條 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ハ第三號書式ニ準シ各年度毎ニ之レヲ設ケ本金庫及支金庫ヲ區分シ各官立學校毎ニ仕拂命令官ヲ細別シ本金庫ニ係ルモノハ各證憑書大藏大臣ヨリ歳入ヲ仕拂元金へ組換支金庫ニ係ルモノハ支金庫ヨリ毎日送付スル官立學校歳出仕拂元金收支報告表ニヨリ毎日之レヲ記入スヘシ

第十六條 本金庫ニ於テ現金出納原簿へ「某年度官立學校歳入」某年度官立學校歳出仕拂元金ノ科目ヲ設ケ第十四條第十五條各廳内譯簿ノ合計額ヲ以テ毎日之レヲ記入スヘシ

第十七條 本金庫ニ於テハ現金出納原簿官立學校歳入金各廳内譯簿官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ每五十ノ日ニ第四號書式甲乙ニ準シ官立學校歳入金收支報告表官立學校歳出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ之レヲ中央金庫へ送付スヘシ

第十八條 本金庫ニ於テ直接ニ官立學校ノ歳入ヲ領收シ及官立學校ノ歳出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノ、月計對照表調製方ハ第十一條ニ同シ

第十九條 本金庫ニ於テハ現金出納原簿官立學校歳入金各廳内譯簿官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ第九號書式ノ官立學校歳入毎月計算表及第十號書式ノ官立學校歳出仕拂元金毎月計算表ヲ調製シ之レニ當該收入官吏及會計主務官ヨリ返付ヲ受ケタル歳入歳出月計對照表及支金庫ヨリ送付スル月計對照表ヲ添付シ中央金庫へ差出スヘシ

第三款 支金庫

第二十條 支金庫ニ於テ官立學校會計ノ出納ヲ取扱フトキハ現金受拂簿摘要中特ニ左ノ科目ヲ設ケ其出納ヲ登記スヘシ

某年度官立學校歳入

某年度官立學校歳出仕拂元金

第二十一條 支金庫ニ於テ官立學校及圖書館會計規則ノ出納ヲ取扱フトキハ金庫出納事務規程第五十九條ニ規定シタルモノ、外ニ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ

第一 官立學校歳入金各廳内譯簿

第二 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿

第二十二條 官立學校歳入金各廳内譯簿ハ第二號書式ニ準シ各年度毎ニ之

レヲ設ケ各官立學校毎ニ收入官吏ヲ區分シ納入告知書若クハ拂込書ニ據リ歳入額ノ欄ニ記入シ追テ大藏大臣ヨリ仕拂元金へ組換ノ令達ヲ受ケタルトキ仕拂元金へ組換額ノ欄ニ記入スヘシ

第二十三條 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ハ第三號書式ニ準シ各年度毎ニ之レヲ設ケ各官立學校毎ニ仕拂命令官ヲ區分シ歳入ヨリ仕拂元金へ組換ノ令達ヲ受ケタルトキハ仕拂元金組換高ノ欄ニ記入シ追テ案内仕拂請求書ヲ受ケタルトキ案内仕拂請求書受領額ノ欄ニ仕拂請求書ニ據リ現金ヲ交付シタルトキ現金仕拂額ノ欄ニ記入スヘシ

第二十四條 支金庫ニ於テ官立學校歳入金各廳内譯簿官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ毎日第四號書式甲乙ニ準シ官立學校歳入金收支報告表官立學校歳出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在

テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送付スヘシ

第二十五條 支金庫ニ於テ官立學校ノ歲入ヲ領收シ及官立學校歲出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノ、月計對照表調製方ハ第十一條ニ同シ但證明濟月計對照表ハ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ差出スヘシ

大藏省訓令第七十號

會計主務官 金庫出納役

明治二十三年二月大藏省訓令第十八號會計主務官心得第二十三條第二項ニ領收證書用紙ヲ受取人ニ交付スルノ手續相定有之候處在外國ノ受取人へ送金

ヲナス場合ハ規定ノ領收證書ノ送付ヲ要セス特ニ其受取人ヨリ差出ス所ノ適宜ノ領收證書ヲ徵收シ差支ナキ儀ト心得ヘシ

明治二十三年四月二十八日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七十一號

北海道廳 府縣

甲廳ヨリ乙廳ニ向テ收入金ヲ收納スルモノアルトキ其取扱順序左ノ通心得ヘシ

明治二十三年四月三十日

大藏大臣伯爵松方正義

第一條 甲廳ヨリ乙廳ニ向テ明治二十二年當省訓令第六十六號諸收入收納取扱順序附屬乙號書式納入告知書ヲ發スヘシ

第二條 乙廳ニ於テ甲廳ヨリ納入告知書ヲ受ケタルトキ乙廳仕拂命令官ハ甲廳收入官吏ヲ受取人トシテ仕拂命令ヲ發スヘシ

前項ノ場合ニ於テ甲廳所在地ト仕拂命令ヲ宛テタル金庫所在地ト同一ナルトキハ乙廳會計主務官ヨリ仕拂命令ヲ直チニ甲廳收入官吏ニ送付スヘシ又甲廳所在地ト仕拂命令ヲ宛テタル金庫所在地ト異ナルトキハ會計規則第三十六條但書ニ依リ仕拂命令ヲ金庫ニ送付スヘシ

第三條 甲廳ノ收入官吏前條ノ仕拂命令ヲ受取タルトキハ會計規則第二十五條ノ領收證書ヲ乙廳ノ會計主務官ニ送付スヘシ但會計規則第三十六條但書ノ場合ニ於テ收入官吏金庫ヨリ現金ノ遞送ヲ受タルトキハ二十三年當省訓令第十八號第二十三條ニ依リ會計主務官ヨリ送付シタル領收證書用紙ニ式ノ如ク記入捺印シ金庫ニ交付スヘシ

第四條 甲廳ノ收入官吏ハ仕拂命令又ハ現金ニ拂込書ヲ添へ諸收入收納取扱順序第十一條ニ依リ金庫へ拂込ムヘシ

大藏省訓令第七十二號

北海道廳 府縣

本年三月大藏省訓令第二十六號第三條各廳へノ納入直納金ニシテ金庫ノ預リ證書^甲ヲ未々納入ヨリ差出サ、ル前ト雖モ各廳ニ於テ金庫ノ通知書^乙ヲ受入レアル分ハ其通知書ヲ同訓令第三條ノ引繼手續ヲ以テ會計法規ニ據リ定ムル處ノ收入官吏へ引繼クヘキ儀ト心得ヘシ

但本年當省訓令第二十六號第三條中領收證書トアルハ預リ證書ノコト、知ルヘシ

明治二十三年五月一日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七十三號

各税關 北海道廳 府縣

本年二月法律第十一號ニ依リ當省所管經費二十二年度ヨリ二十三年度へ繰越金ニシテ仕拂命令ヲ委任シタルトキハ該仕拂命令番號ノ上ニ繰越ノ二字ヲ記入シ發付スヘシ

明治二十三年五月八日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七十四號

府 縣

内國稅徵收費ニ屬スル物件ノ借入又ハ不用物品ノ賣却ニ關スル諸契約ハ府縣知事ニ於テ適宜締結スルコトヲ得

但物件ノ借入ハ仕拂豫算ヲ以テ仕拂命令ヲ委任シタル金額内ニ係ルモノトス

明治二十三年五月八日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七十五號

會計主務官

會計主務官ヨリ提出スル支出報告書ノ金額ト金庫出納役ヨリ差出スヘキ歳出金月計對照表ノ金額トヲ毎月末ニ符合セシムル爲メ會計主務官ヨリ金庫へ送付スル案内仕拂命令案内仕拂請求書へ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人若

大藏省所管經費廿二年度ヨリ翌年度へ繰越金ニシテ仕拂命令ヲ委任セシトキ記入方内國稅徵收費所屬物件ノ借入及不用品賣却契約ノ件 會計主務官ヨリ金額へ送付スル案内仕拂命令案内仕拂請求書記入方等ノ件

シクハ金庫へ交付セシ年月日記入方支出簿支出報告書へ調定濟額登記方及
毎月末仕拂命令交付方共左ノ通相定候條此旨心得ヘシ

明治二十三年五月九日

大藏大臣伯爵松方正義

一 毎月ノ計算整理ノ爲メ仕拂命令及仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫
へ送付スルハ其月二十八日二月十二月ハ二十六日トス限リトス

但規則上仕拂日限ノ定リシモノ及急施ヲ要スル仕拂ハ此限ニアラス

一 會計規則第三十八條ニ據リ會計主務官ヨリ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人
へ交付シ又ハ金庫へ送付スルトキハ金庫へ送付スヘキ案内仕拂命令案内
仕拂請求書ノ欄外下段ニ「何年何月何日交付濟」ト記入スヘシ

但「何年何月何日交付濟」ノ印ヲ押捺スルモ妨ナシ

一 會計主務官ノ仕拂命令仕拂請求書ニ調定濟ヲ記入スルハ仕拂命令又ハ仕

拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付スルトキニ之ヲ行フヘキ筈ニ
付支出簿中仕拂命令調定濟額ノ欄内ニハ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人へ
交付シ又ハ金庫へ送付スルトキニ於テ之レカ記入ヲナスヘシ
一 會計主務官ヨリ毎月提出スル支出報告書中仕拂命令調定濟額ノ本月分欄
内ニハ實際其月中ニ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付セシ仕拂命令仕拂請
求書ノ金額ヲ記入スヘシ

大藏省訓令第七十六號

金庫出納役

案内仕拂命令案内仕拂請求書ノ欄外へ仕拂命令仕拂請求書交付ノ年月日ヲ
記入シ支出簿竝ニ支出報告書へ仕拂命令仕拂請求書調定濟額記入方及仕拂

命令仕拂請求書交付日限等ノ儀今回大藏省第七十五號ヲ以テ會計主務官ヘ訓令セシニ依リ明治二十二年^{十二}大藏省訓令第七十二號金庫出納事務規程第七十二條第八十六條第一百四條二項第七條一項及第一百一條一項割註ニ該命令ニ記載スル月ノトアル十字ヲ該案内仕拂命令ノ欄外ニ記載又ハ捺印アル仕拂命令交付濟ノ月ノ二十九字ニ改正ス

明治二十三年五月九日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七十七號

本省

造幣局

印刷局 會計主務官

稅關

府縣

會計主務官ヨリ會計検査院ヘ送付スヘキ大藏省所管經費ノ仕拂内譯書ハ翌月十五日マテニ當省會計監督員ヘ發送スヘシ

明治二十三年五月十日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七十八號

廳府縣

本年一月勅令第二號ヲ以テ公有金私有金寄托ノ儀ヲ定メラレ候處各廳ニ於テ一時ノ取扱ニ係ル金錢ハ包含セサル儀ナルニ往々警察官拾得金未決囚所持金ノ類ニシテ直チニ交付又ハ仕拂ヲナス場合ニ於テモ預金局ニ寄托シ却テ事務取扱ノ不便ヲ醸スモノ有之候ニ付今後ハ數日內ニ其交付又ハ仕拂フ

大藏省所管經費仕拂内譯書送付期限 預金局寄托金ニ付心得方

ヘキ見込ナキモノヲ預金局ニ寄托スル儀ト心得ヘシ

明治二十三年五月十日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八十一號

會計主務官 金庫出納役

本年法律第十一號第十條ノ仕拂切符ニ對シ本年三月大藏省訓令第二十二號第四條ニ據リ二十二年度歳出仕拂未済繰越金ヲ本年四月一日以降金庫ニ於テ支拂ヲナシタル分ニ係ル月計對照表ハ會計規則第八十七條ニ基キ命セラレタル會計主務官ヘ差出シ證明ヲ請フヘシ該會計主務官ハ會計主務官心得第二十五條ニ據リ右對照表ノ現金支拂高ト各證憑書ト對查シ之ニ證明ヲナスヘシ

明治二十三年五月十三日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八十三號

稅關 北海道廳 府縣

當省所管歳入金租稅ヲ除ク收入ノ儀ハ總テ其ノ本廳ヲ以テ取扱廳トシ納入スル儀ト心得ヘシ

明治二十三年五月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八十四號

北海道廳 府縣
金庫出納役

廿二年度歳出支拂未済繰越金支拂月計對照表差出及對查證明方 大藏省所管歳入金收
入取扱場所 税金分納ノトキ手續

明治二十二年四月當省訓令第三十一號ニ依リ各納税人ヨリ税金ヲ分納スル
トキハ右ニ關スル徵稅令書ヲ添付セシムヘシ金庫ニ於テハ該令書ノ納期日
ヲ認メ納期日以内ニアリテハ納付書ニ依リ現金ヲ領收シ該令書ハ納人ニ返
付スヘシ

明治二十三年五月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八十五號

北海道廳 府縣 主稅局

大藏省所管國稅ニ關スル鑑札用品出納順序左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ
施行ス

但從前ノ訓令又ハ指令中此順序ニ抵觸スルモノハ同日ヨリ廢止ス

明治二十三年五月十七日

大藏大臣伯爵松方正義

鑑札用品出納規程

第一條 鑑札用品ハ消耗品ノ一部トシ各地方長官ノ分任代理官ノ命令ニ由
リ本廳屬ヲシテ之ヲ出納セシムヘシ

第二條 鑑札用品ハ毎年三月及ヒ九月兩度ニ豫算ヲ以テ各地方收稅部出張
所長又ハ島司郡長ヨリ地方長官ノ分任代理官ニ請求スヘシ但臨時必要ア
ル場合ニ於テハ隨時之ヲ請求スヘシ

第三條 前條鑑札用品ノ配付ハ鑑札下付主任官吏之ヲ收受シ其種類員數ヲ
記載セル領收證書ヲ製シ會計官吏ニ差出スヘシ

第四條 各收稅部出張所又ハ島廳郡役所ニ於テ直チニ製造シ又ハ買入ル
、所ノ鑑札用品ト雖トモ其出納上ニ於テハ第二條第三條ノ式ヲ追フヘ

シ

第五條 鑑札用品ノ支出ハ其請求書ニ命令官認印ヲ押捺スルヲ以テ命令ト
做ス

鑑札用品ハ會計官吏ノ保管ヲ離ル、ヲ以テ出トシ鑑札下付主任官ノ領收
證書ヲ以テ其支出ヲ完結スルモノトス

第六條 會計官吏及ヒ鑑札下付主任官吏ハ消耗品出納簿ヲ調製シ用品出納
ノ事項ヲ記載スヘシ

第七條 物品會計規則第十七條ノ計算書下検査ハ地方長官取纏メ之ヲ執行
シ直チニ検査院ニ送付スヘシ

第八條 鑑札用品ノ大藏省製造ニ係ルモノ受拂報告書ハ適宜之ヲ取調ヘ差
出スヘシ

大藏省訓令第八十六號

會計主務官 金庫出納役

本年大藏省訓令第二十七號第二條第二項ニ據リ中央金庫及本支金庫ニ於テ
引繼ヲ受ケタル雜部金ノ内各廳ヨリ本年三月三十一日迄ニ發行シタル仕拂
切符ニ對シ現金支拂ヲナシタル分ニ係ル月計對照表ハ本年大藏省訓令第八
十一號ニ據リ取扱フヘキモノト心得ヘシ

明治二十三年五月十七日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八十八號

作業及鐵道會計

雜部金ノ内廿二年三月迄ニ發行セシ仕拂切符ニ對シ現金支拂ニ係ル月計對照表取扱方
特別會計ノ歳入出金月計對照表ノ送付ヲ受ケタルト取扱方

鎮守府造船材料資金會計 出納官吏

官立學校及圖書館會計

本年四月當省訓令第六十三號作業及鐵道會計金庫出納事務規程同第六十九號官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程ニ依リ歲入金及歲出金月計對照表ノ送付ヲ受ケタル時ハ客年十二月當省訓令第七十四號ニ據ルヘシ

明治二十三年五月二十日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八十九號

金庫出納役

各地金庫ニ於テ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻シタル保管金及預金受渡事務順序ニ據リ即時拂戻シタル預金ノ元利金ハ毎月左ノ書式ノ對照表ヲ

調製シ翌月三日迄ニ其取扱官廳へ差出シ證明ヲ受ケ置キ左ノ書類ハ月計對照表ニ添へ中央金庫ヲ經テ預金局長へ差出スヘシ但預金受渡事務順序第八條第二十條及第二十二條ノ拂戻報知書ハ預金局へ送致スルニ及ハス

明治二十三年五月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

- 一 拂戻濟拂戻證書
- 一 拂戻濟定期預金證書
- 一 定期預金利子受取證書
- 一 通常預金即時拂戻受取證書
- 一 通常預金利子即時拂戻受取證書
- 一 拂戻濟保管證書

一 拂戻濟拂戻金證明書

一 拂込書

明治何年何月中拂戻金對照表			
種類	番記號	拂戻人氏名	金額
保管證書	何第何號	何某	0
拂戻金證明書	何第何號	何某	0
即時拂戻受取證書	何第何號	何應何某	0
合計			0

書面ノ通拂戻候條證明有之度候也
 明治何年何月何日
 何地本金庫印
 又ハ
 何地支金庫印
 何應取扱主任官氏名殿

書面ノ金額調査候處相違無之ニ付證明ス
 明治何年何月何日
 何應印
 取扱主任
 官氏名印

(丙及印章ハ朱)

大藏省訓令第九十號

北海道廳 府縣

本人大藏省訓令第八十九號ニ由リ各地金庫ニ於テ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル預金ニ對シ其金庫ヨリ證明ヲ請フトキハ同訓令ノ書式通り證明スヘシ

明治二十三年五月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第九十一號

金庫出納役

納入告知書又ハ現金拂込書ニシテ二名以上ノ收入官吏署名シ又ハ列記シテ發行シタルモノハ租稅外ノ收入ニ屬スル分ト雖トモ總テ本年四月當省訓令第六十五號ニ依リ取扱フヘシ

各地金庫ニテ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル預金證明方 納入告知書現金拂込書ニ二名以上ノ收入官吏署名ノトキ取扱方

明治二十三年五月二十三日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第九十二號

北海道廳 府縣

金庫出納役

收入官吏轉免死亡等ニ依リ交替シタルトキ金庫へ通知方及金庫計算方取扱手續左ノ通り心得ヘシ

明治二十三年五月二十七日

大藏大臣伯爵松方正義

一各廳ニ於テ收入官吏交替ノトキハ前任及後任收入官吏ノ官氏名及何日分迄ハ前任收入官吏ノ取扱何日分ヨリ以降ハ後任收入官吏ノ取扱ナルコトヲ交替ノ際關係アル金庫へ通知スヘシ

一金庫ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其日限ヲ以テ帳簿上前任收入官吏ノ口坐ヲ締切り更ニ後任收入官吏ノ口坐ヲ設クヘシ

一金庫ニ於テ前項ニヨリ前任收入官吏ノ口坐ヲ締切りタルトキハ直ニ其分ニ對シ月計對照表ヲ作り該收入官吏ノ證明ヲ受クヘシ但前任收入官吏死亡ノ場合ハ月計對照表ヲ前任收入官吏某取扱ノ分トシテ後任收入官吏取扱ノ分ト混スヘカ之ヲ後任收入官吏へ差出シ證明ヲ受クヘシ

一金庫ニ於テ第二項ニ依リ後任收入官吏ノ口坐ヲ設ケタル以降ハ前任收入官吏官氏名ヲ記載シタル徵稅令書納入告知書等ヲ以テ現金ヲ納付スルモノアルトキハ總テ之ヲ後任收入官吏ノ口坐へ記入シ該後任收入官吏ノ計算ニ組入レ月計對照表ヲ差出スヘシ

大藏省訓令第九十三號

北海道廳 府縣

會計主務官

各廳ニ於テ會計規則第三十三條作業及鐵道會計規則第十七條ニ據リ集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ發スルトキ之ニ添フヘキ各受取人ノ金額氏名表ハ金庫ニ於テ現金交付ノ際受取人ノ領收證書ト對查ヲ要スルカ爲メ多數ノ場合ニ在テハ授受上互ニ時間ヲ費シ不便ヲ來タスヘクニ付該表人名ノ上ニ順次番號ヲ付記スヘシ

會計主務官ニ於テ會計主務官心得第二十三條第二項ニ據リ受取人ヘ交付スヘキ集合仕拂命令及集合仕拂請求書ニ係ル領收證書ニハ其金額ノ左方ヘ金額氏名表人名ノ上ニ記入アル番號ヲ付記スヘシ

明治二十三年五月二十七日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第九十四號

金庫出納役

本年大藏省令第八號保管金取扱規程第六號書式ノ拂戻證明書ヘハ權利者裏書調印ノ上拂戻ヲ受クヘキ成規ノ處在監人放免ノモノ印形所持セサルトキ取扱官廳ヨリ印形所持セサルノ證明書ヲ以拂戻ノ請求ヲ受クルトキハ本人ノ拇印ヲ押捺セシメ拂戻ヲナスヘシ

明治二十三年五月二十九日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第九十五號

集合仕拂命令集合仕拂請求書ニ添フヘキ金額氏名表及領收證書ニ番號付記方 保管金取扱規程中拂戻證明書ヘ拇印セシムル場合

金庫出納役

各控訴院各裁判所ヨリ寄托可相成豫納金及ヒ假納金ノ儀ハ本年省令第八號
保管金取扱規程第五條第六條ニ據リ可取扱部分ニ有之候處右ニテハ拂戻ノ
際第十四條ニ據リ分割ヲ要シ取扱上繁雜ニ堪ヘサル儀ニ付右豫納金及ヒ假
納金ニ限り同規程第七條第八條ヲ適用シ取扱官廳ニ於テハ保管金送付書ヲ
納入ヘ交付スヘキニ付右ニ對シ各金庫ニ於テハ該取扱官廳宛ノ保管金領收
證書ヲ納入ヘ交付スヘシ

明治二十三年五月二十九日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第九十六號

金庫出納役

保管金ノ内預金本局又ハ金庫ヨリ發付シタル保管證書又ハ保管金領收證書

ニ對シ他ノ金庫ニ於テ拂戻ヲナストキハ左ノ順序ニ據リ取扱フヘシ

明治二十三年五月二十九日

大藏大臣伯爵松方正義

一預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管證書ヲ以テ他ノ金庫ヨリ拂戻ヲ受ク
ル爲メ取扱官廳ヨリ保管證書ニ事由書ヲ添ヘ當初拂込ミタル預金本局又
ハ金庫ヘ差出シタルトキハ該證書ニ左ノ書式ノ如ク裏書ヲナシ之レヲ返
付シ同時ニ拂戻ヲナスヘキ金庫ヘ其拂戻ノ請求ヲナスヘキ取扱官廳名金
額保管證書ノ記番號ヲ記入シタル書面ヲ以テ通知スヘシ但證書扣ニ拂戻
ヲナスヘキ金庫名及年月日ヲ記入シ金庫ニ於テハ事由書ヲ中央金庫ヲ經
テ預金局ヘ送付スヘシ

(裏書書式)

各控訴院裁判所ヨリ寄托ノ豫納金及假納金取扱方 預金本局金庫ヨリ發シタル保管證書又ハ
保管金領收證書ニ對シ他ノ金庫ニテ拂戻ヲナストキ取扱順序

表面金額何廳ノ裏書證明ニ據リ拂戻スコトヲ何地何金庫ヘ通知セリ

預金局長氏各圖

(又ハ何地何金庫)

一前條ノ通知ヲ受ケタル金庫ニ於テ通知先ノ裏書及取扱官廳ノ裏書シタル保管證書ヲ以テ拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ金額證書ノ記番號等ヲ通知書ニ照合シ其他ハ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻ヲナスヘシ

一預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管金領收證書ノ全部又ハ幾分ヲ他ノ金庫ヨリ拂戻ヲ受クル爲メ取扱官廳ヨリ事由書ヲ當初拂込タル預金本局又ハ金庫ヘ差出シタルトキハ承諾ノ旨ヲ回答シ同時ニ拂戻ヲナスヘキ金庫ヘ其拂戻ノ請求ヲナスヘキ取扱官廳名金額領收證書ノ記番號ヲ記入シタル通知書ヲ送付スヘシ但證書扣ニ拂戻ヲナスヘキ金庫名及年月日ヲ記入

シ金庫ニ於テハ事由書ヲ中央金庫ヲ經テ預金局ヘ送付スヘシ

一前條ノ通知ヲ受ケタル金庫ニ於テ其拂戻金證明書ヲ以テ拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ領收證書ノ記番號及ヒ通知書ノ金額ニ超過セサルヤヲ照合シ其他ハ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻スヘシ

一拂戻ヲナスヘキ金庫ニ於テハ取扱官廳ノ印鑑差出シナキモノハ之レヲ徴シ保管證書ノ裏書又ハ拂戻金證明書ノ印章ニ照合スヘシ

大藏省訓令第九十七號

北海道廳 府縣

明治二十三年度當省所管歲出中左記科目ノ支出ハ毎月仕拂内譯ノ證明ヲ要セス

明治二十三年六月二日

大藏大臣伯爵松方正義

一 恩賞諸祿

一 非職俸給

一 諸拂戻及缺損補填金

一 補助費(北海道廳)

大藏省訓令第九十八號

收入官吏

金庫出納役

納入告知書ニ依リ金庫へ現金納付ノ上納入ニ於テ收入官吏へ領收證ノ檢印ヲ請ハサルモノアル時ハ該官吏ニ於テハ收入未濟額トシテ處分シ其收入報

告書ニハ金庫月計對照表ト不突合ノ事由ヲ備考欄内ニ記入シ乙號月計對照表ニハ證明文言ニ換フルニ不突合ノ事由ヲ詳記(若シ證明文言ノ坐ニ記載シ悉スヲ得サルトキハ別ニ事由書ヲ製シテ添付スルモノトス)シテ金庫へ還付ス可シ

但後日納入ニ於テ檢印ヲ申出テタル時モ亦同様取扱フ可シ

明治二十三年六月四日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第九十九號

作業及鐵道

鎮守府造船材料資金 收入官吏

官立學校及圖書館

收入官吏現金ヲ領收シ其月中金庫へ拂込未濟ノ金額アルトキハ明治二十二

納入領收證ノ檢印ニ係ル件 現金金庫へ拂込未濟アルトキ報告方

年大藏省令第十一號書式收入報告書備考ニ準シ本年大藏省令第九號同第十
四號書式收入報告書へ其金額及事由ヲ付記スヘシ

明治二十三年六月七日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第百號

金庫出納役

本年大藏省令第十五號ヲ以テ保管金取扱規程中改正ニ由リ權利者ヨリ保管
金利子證券ヲ以テ其仕拂ヲ請求シタルトキハ該證券ト引替ニ現金ヲ仕拂ヒ
保管金受渡事務順序第十六條ニ據リ帖記ヲナシ仕拂濟利子證券ハ本年大藏
省訓令第八十九號ニ據リ取扱官廳ノ證明ヲ受ケタル後チ月計對照表ニ添へ
中央金庫ヲ經テ預金局長へ差出スヘシ

明治二十三年六月十三日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第百一號

大藏省所管

出納官吏

明治二十二年^{十月}大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第一章ニ據リ金庫
へ義務委托ヲ爲ストキハ當該官吏印鑑ニ其所在地及義務委托ヲ爲スヘキ金
庫名ヲ付記スヘシ

明治二十三年六月十三日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第百二號

保管金取扱ニ係ル件 出納官吏現金取扱ニ係ル件 收入官吏交替ノ簡便明細式

造幣局 印刷局
税關 北海道廳
府縣

明治二十三年度以降當省管理ニ屬スル歳入ノ收入官吏交替ノ節ハ會計規則
第九十九條ニ據リ左ノ書式ヲ以テ證明スル儀ト心得ヘシ

明治二十三年六月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

第一號書式

明治何年度何款

收入計算書

廳名 (又ハ支部局)

凡例
一 本計算書ニ附帶セル明細書ハ追テ定ムルマテハ從前ノ仕懸書ヲ添付スヘシ
二 本計算書收入額中現金ヲ領收スル收入官吏ニ於テ領收セシ金額ヲトキハ總計ノ備考ニ於テ其金額ヲ掲記スヘシ
三 用紙ハ支出計算書ト同様ノモノヲ用ユヘシ

收入官吏交替ノ節證明書式

收入官吏交替ノ節證明書式

調定濟額						日 番 號	摘 要
前年度未收 入高		本年度納額 本通知高		計			
目	額	目	額	目	額		
							第何項
							何々(項)
							何々(目)
							何々(〃)
							第何項計
							第何項
							何々(項)
							何々(目)
							何々(〃)
							第何項計
							總計

收 入 濟 額			缺 損 額	未 收 入 額	備 考
前年度未收 入ノ方	本 年 度 分	計			
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

明治何年度何款

未収入額明細書

第二號書式

〔凡例〕

一 前年度ヨリ繰越未収入額ニシテ本年度中尙ホ收入ニ至ラサルモノアルトキハ各之ヲ別項トナシ毎年度ニ區分提記スヘシ

 名 (又ハ支部局)

明治何年度何款收入計算書面ノ通相違無之候也

明治何年何月何日

收入官吏氏名印

會計検査院長宛

明治何年度間何款現金出納計算書面ノ逆相違無之候也

明治何年何月何日

收入官吏氏名印

會計検査院長宛

摘要	納額達領日 年 月	納期	令與日 授與月 狀年	金額			備考
				圓	角	分	
何々(項)							
何々(目)							
住所氏名				0			
住所氏名				0			
計				0			
何々							
住所氏名				0			
住所氏名				0			
計				0			
何項合計				0			
何々(項)							
何々(目)							
住所氏名				0			
住所氏名				0			
計				0			
何項合計				0			
總計				0			

第三號書式

明治何年度何款

滞納處分金明細書

一 凡例
 一 簿類トシテ添付ヲ要スルモノ左ノ如シ
 一 財産簿 二 買受人ノ代金納附書 三 過剩還付額ニ對スル領收書
 一 前年度ヨリ繰越未収入額ニシテ本年度中滞納處分ヲ執行セシモノアルトキハ各之ヲ別項トナシテ毎年度ニ區分提配スヘシ
 一 裁判所ヘ照會シ公費不足金ヲ受入タルモノ及ヒ保證金ヲ沒收セシモノアルトキハ差押進貨ノ區ヘ併算シ備考ヘ其金額ヲ區分掲載スヘシ
 一 犯罪發見等ノ爲メ納期限ヲ過半徵稅書ヲ發シタルモノ其他財産ノ差押等規定ノ期限内ニ於テ其手續ヲ爲サハリシモノアルトキハ備考ヘ其理由ヲ詳悉スヘシ

廳名 (又ハ支部局)

收入官吏交替ノ節證明書式

納付種類 交換年月日	納期	借入金 授與年月日	出資担保 年月日	公費得用 年月日	公費終了 年月日	所納金額	受ノ部								
							担保物件 買却代價	差押通 貸	他 貸入 額	計	計				
											圓	銭	圓	銭	
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

摘要	拂ノ部										欠損額	備考	
	處分費	借入金		納税税金	差押通		計	計					
		圓	銭		圓	銭		圓	銭	圓			銭
何々(項)													
何々(目)													
住所氏名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住所氏名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々(目)													
住所氏名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住所氏名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何項合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々(項)													
何々(目)													
(以下前例ニ倣ヘ)													
總計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

明治何年度間何款

現金出納計算書

第四號書式

凡例

一 證類ニシテ金庫ヨリ交付セル領收證書ヲ添付スヘシ
二 諸收入現金出納計算書モ本書式ニ準シテ調製スヘシ

應名 (又ハ支部局)

明治何年度何款收入計算書面之通相違無之候也

明治何年何月何日 收入官吏氏名印

會計検査院長宛

明治何年度間何款現金出納計算書面ノ通相違無之候也

明治何年何月何日 收入官吏氏名印

會計検査院長宛

摘 要	收 入		拂 込		登録簿 册番號	備 考
	目	額 原	目	額 原		
何 年 度						
何 々 項						
何 々 (目)	0		0			
何 々 (,,)	0		0			
計	0		0			
何 々 (項)						
何 々 (目)	0		0			
何 々 (,,)	0		0			
計	0		0			
何年度分合計	0		0			
何 年 度						
何 々 (項)						
(以下前例ニ倣ヘ)						
總 計	0		0			

大藏省訓令第三百三號

北海道廳

府 縣 沖繩縣
ヲ除ク

金庫出納役

納税人ニ對シ直ニ徵稅令書ヲ發シ徵收スヘキ國稅ニシテ其令書ノ發付ヲ受ケ納期經過後督促令狀發付以前ニ於テ該稅金ヲ上納セントスル者アルトキハ本年三月當省訓令第四十三號乙號式ニ倣ヒ收入官吏ニ於テ其徵稅令書ヘ裏書ヲ爲シ稅金ハ本人ヲシテ直ニ金庫ヘ納付セシメ其領收證ノ檢印及別符ノ切離ヲ請ハシムヘシ

明治二十三年六月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第五百五號

稅關 北海道廳 府縣

當省所管經費諸拂戻及缺損補填金ノ款諸拂戻ノ項及非職俸給ノ款仕拂豫算ヲ以テ仕拂命令ヲ委任シタルモノ、過誤拂ヲ爲シタルトキハ直ニ當省主管トシテ現年度ノ歲入ニ收納ノ手續ヲ爲シタル上事由ヲ詳具シ届出ヘシ

明治二十三年六月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第六百六號

北海道廳 府縣

明治二十二年十一月訓令第六十六號諸收入收納取扱順序中第六條ハ删除ス

納稅取扱ニ係ル件 諸拂戻過誤拂ヲ爲シタル際取扱手續 諸收入收納取扱順序中改廢追加

同第十七條總報告書ノ四字ヲ集計表ノ三字ニ改メ製シノ下左ノ書類ノ上ニ
「翌月十五日マテニ」ノ八字ヲ加フ

明治二十三年六月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第七號

作業及鐵道

會計主務官

鎮守府造船材料資金

本年三月二十九日大藏省令第九號書式中第七號支出報告書及第八號支出合
計表確定額ノ欄ニハ前月迄ノ累計ト本月分トノ金額ヲ區分シテ記入ス可シ

明治二十三年六月二十四日

大藏大臣伯爵松方正義

大藏省訓令第八號

出納官吏

現金領收、現金前渡、物品會計等ノ數職ヲ兼ヌル出納官吏身元保證金ハ各種
類毎ニ區別シ納付スヘシ

二人以上連帶責任ノ出納官吏ノ身元保證金ハ各其納金額ヲ各自ニ區別シ納
付スヘシ但シ納付書ニ何ノ誰連帶ノ旨ヲ附記スルモノトス

四期納ノモノ其納付金ヲ一回若クハ二回ニ前納シ毎月納ノモノ數箇月分ヲ
併セテ前納シ又ハ納付殘額ヲ一時ニ皆納スルハ妨ケナシ此等ノ場合ニ於テ
ハ納付書ニ其旨ヲ附記スルモノトス

明治二十三年六月二十八日

大藏大臣伯爵松方正義

明治二十三年八月
亞細亞出版
十六日

大藏省

